

# 盛岡広域圏社会経済動態調査 (中間報告)

平成26年10月27日

株式会社日本経済研究所

1

---

## 目次

---

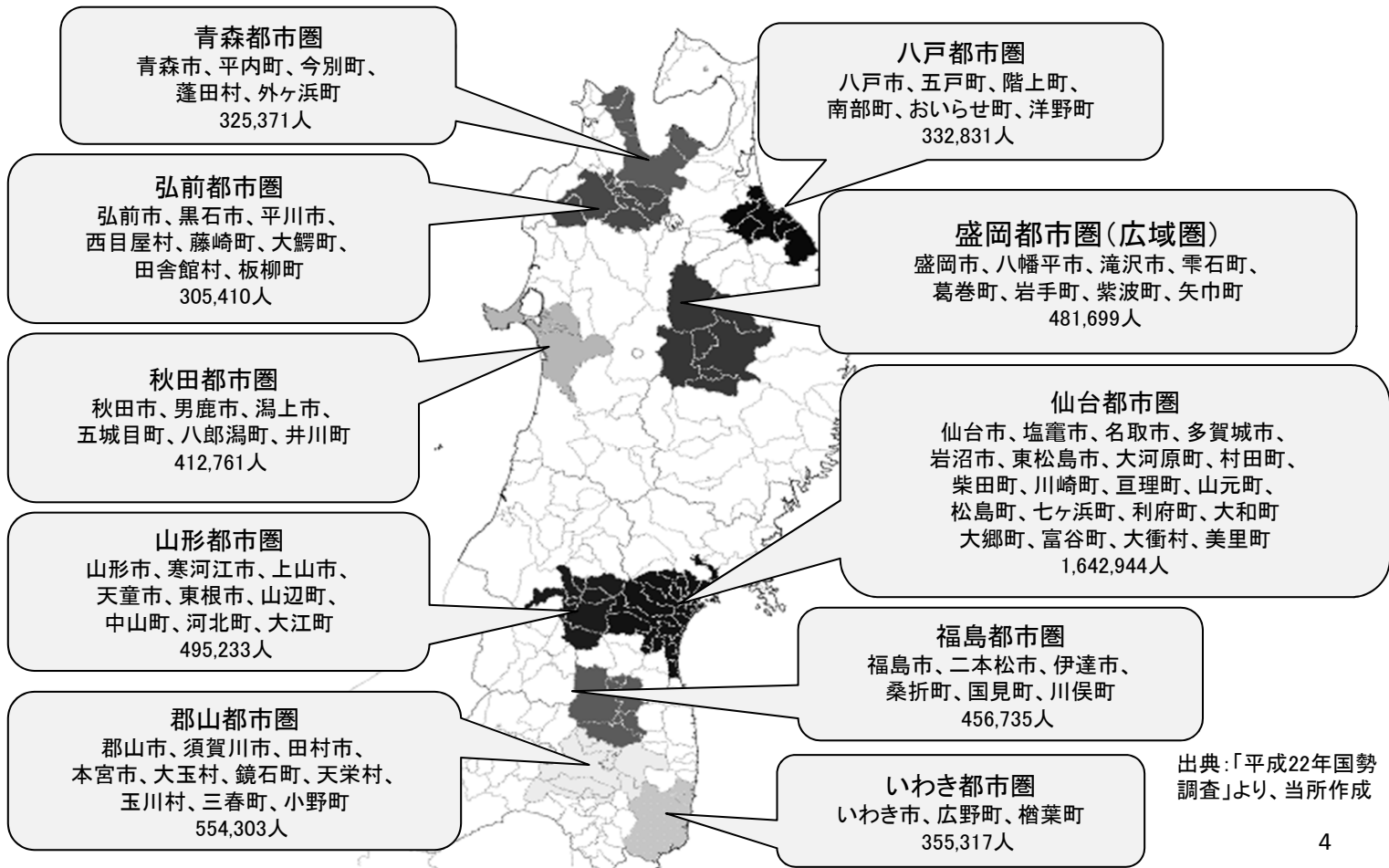
1. 盛岡広域圏の社会経済動態	3
2. 経済成長における盛岡広域圏の優位性及び課題	39
3. 今後強化又は新たに取り組むべき方向性	48

2

# 1. 盛岡広域圏の社会経済動態

## (1) 対象地域

東北6県の主要都市圏(人口30万人以上)は下図の通り

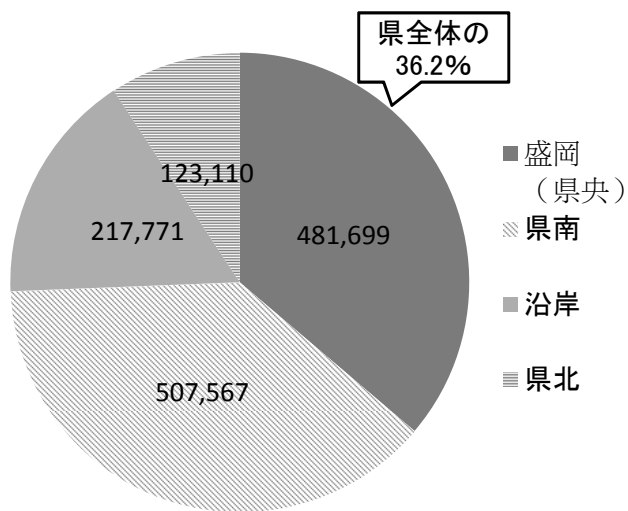


出典:「平成22年国勢調査」より、当所作成

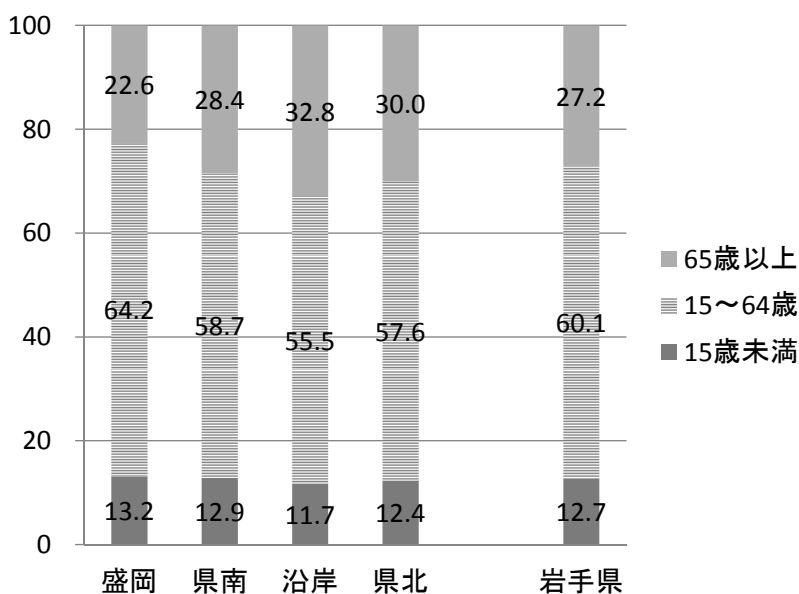
## (2) 盛岡広域圏の概況－人口

盛岡広域圏では、県全体の人口の36.2%を占める(2010年)。また、現状では、高齢化率は最も低い

広域振興圏毎の人口(人)



広域振興圏毎の人口構成(%)



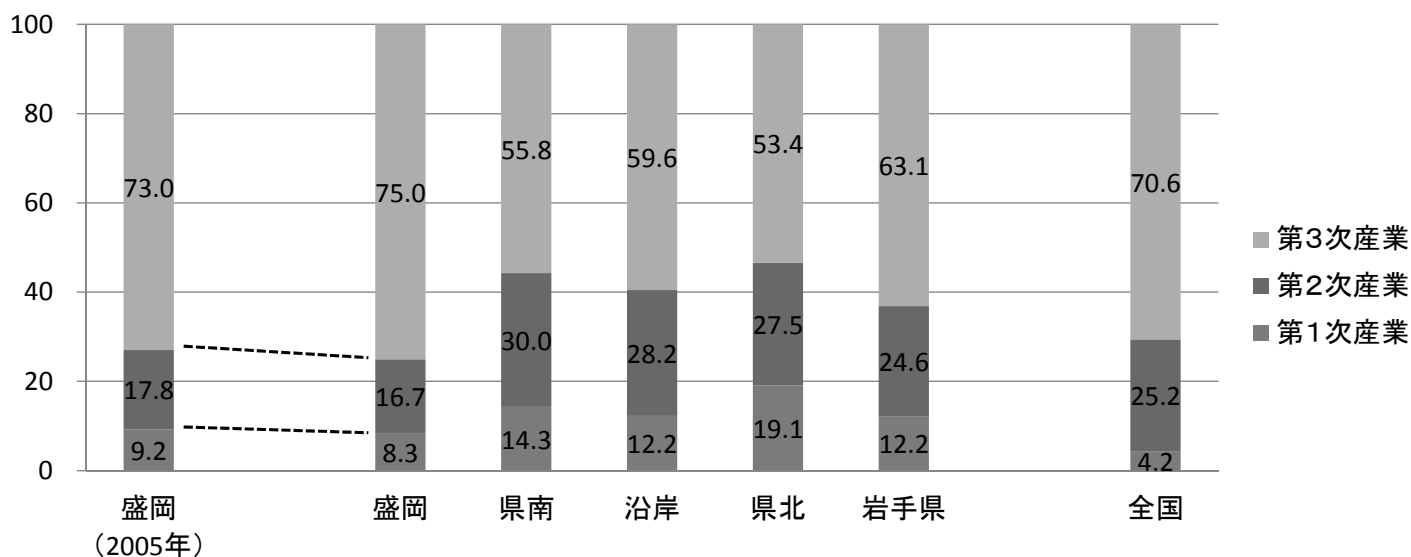
出典:「平成22年国勢調査」より、当所作成

5

## (2) 盛岡広域圏の概況－就業者数

盛岡広域圏では、第3次産業の就業者数比率が3/4と県内他地域に比して高い(2010年)。第1次産業の構成比は県全体よりも低いが、全国平均よりは高い

広域振興圏毎の就業者比率(%)



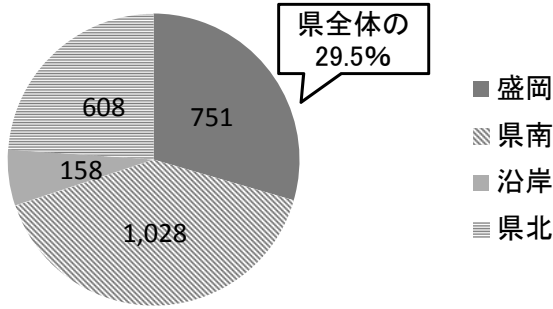
出典:「平成22年国勢調査」より、当所作成

6

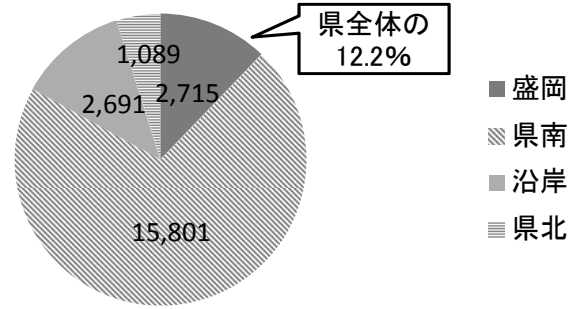
## (2) 盛岡広域圏の概況－産業

盛岡広域圏の各産業が県全体に占める比率を見ると、小売業で高く、製造業で低い

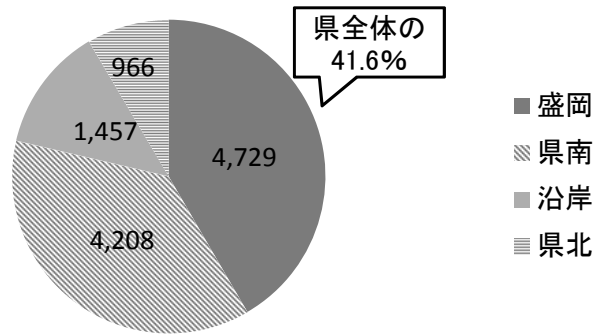
広域振興圏毎の農業産出額  
(2006年;億円)



広域振興圏毎の製造品出荷額等  
(2012年;億円)



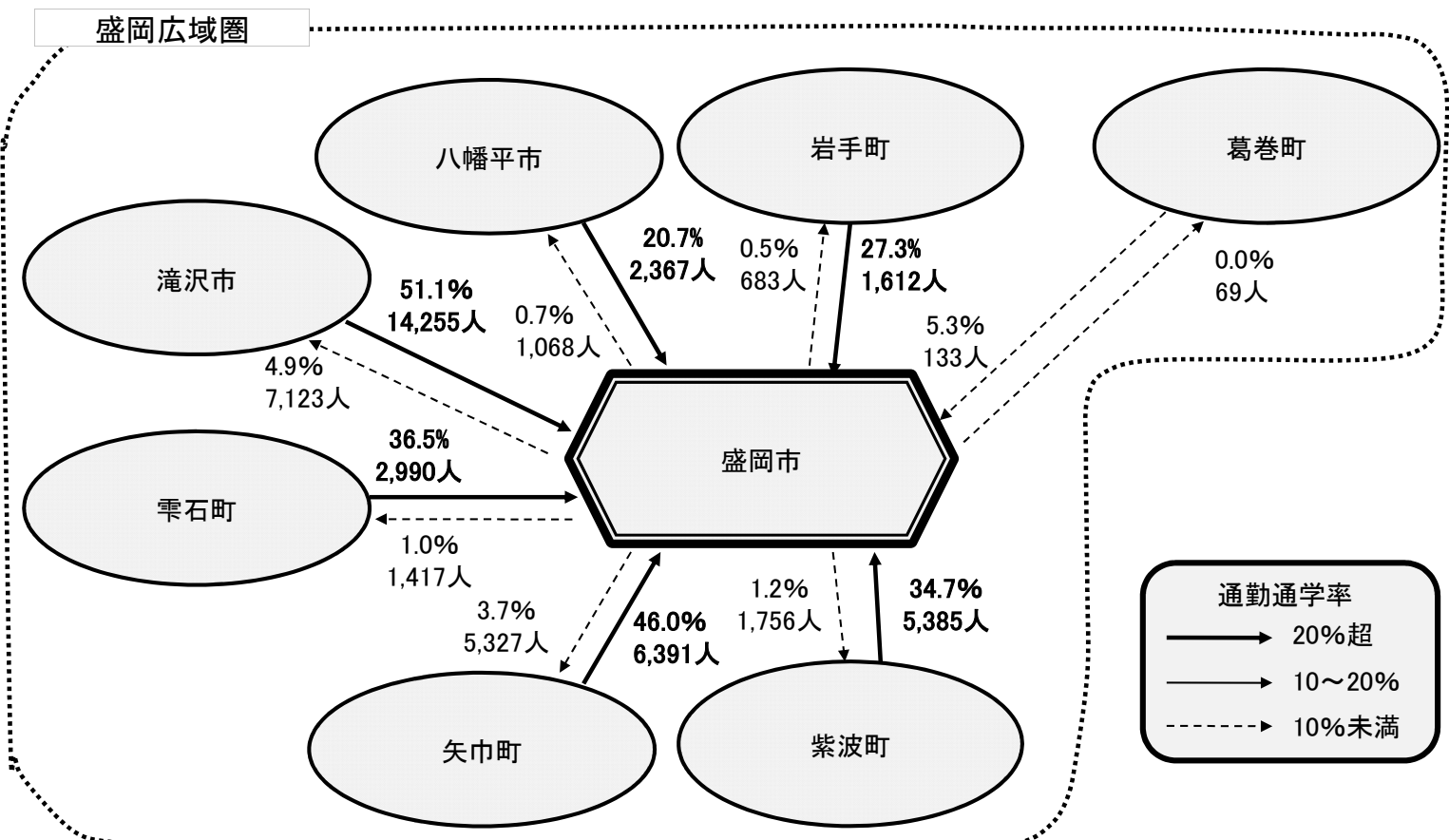
広域振興圏毎の小売業年間販売額  
(2012年;億円)



7

## (2) 盛岡広域圏の概況－通勤通学人口比率

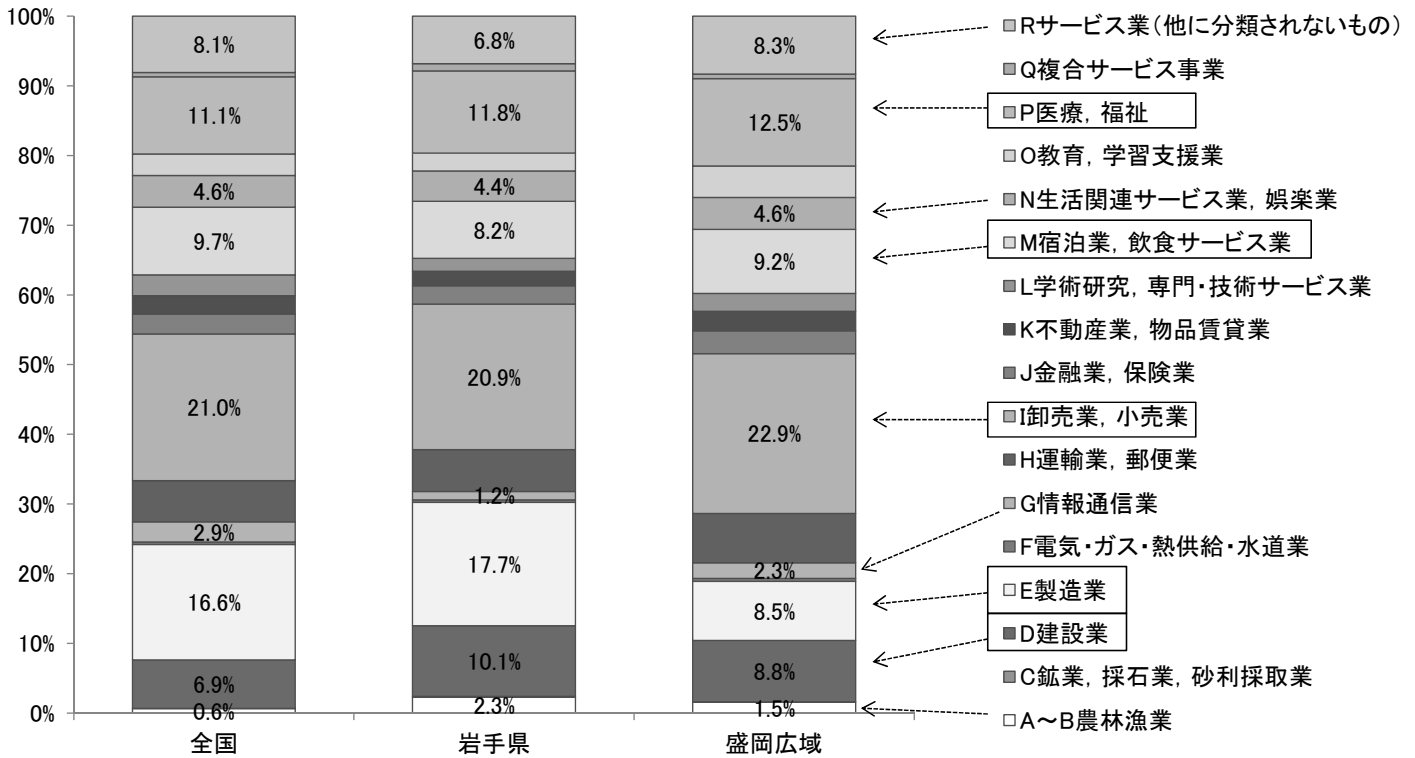
盛岡広域圏は、葛巻町を除き、盛岡市への通勤通学人口20%超の市町



### (3) 産業別従業者数から見た盛岡広域圏の特徴

産業別従業者数の構成比から盛岡広域圏の産業構造を見ると、卸・小売、医療・福祉、宿泊・飲食、建設、製造業が、広域圏内の5大産業

産業別従業者数の構成比(2012年)



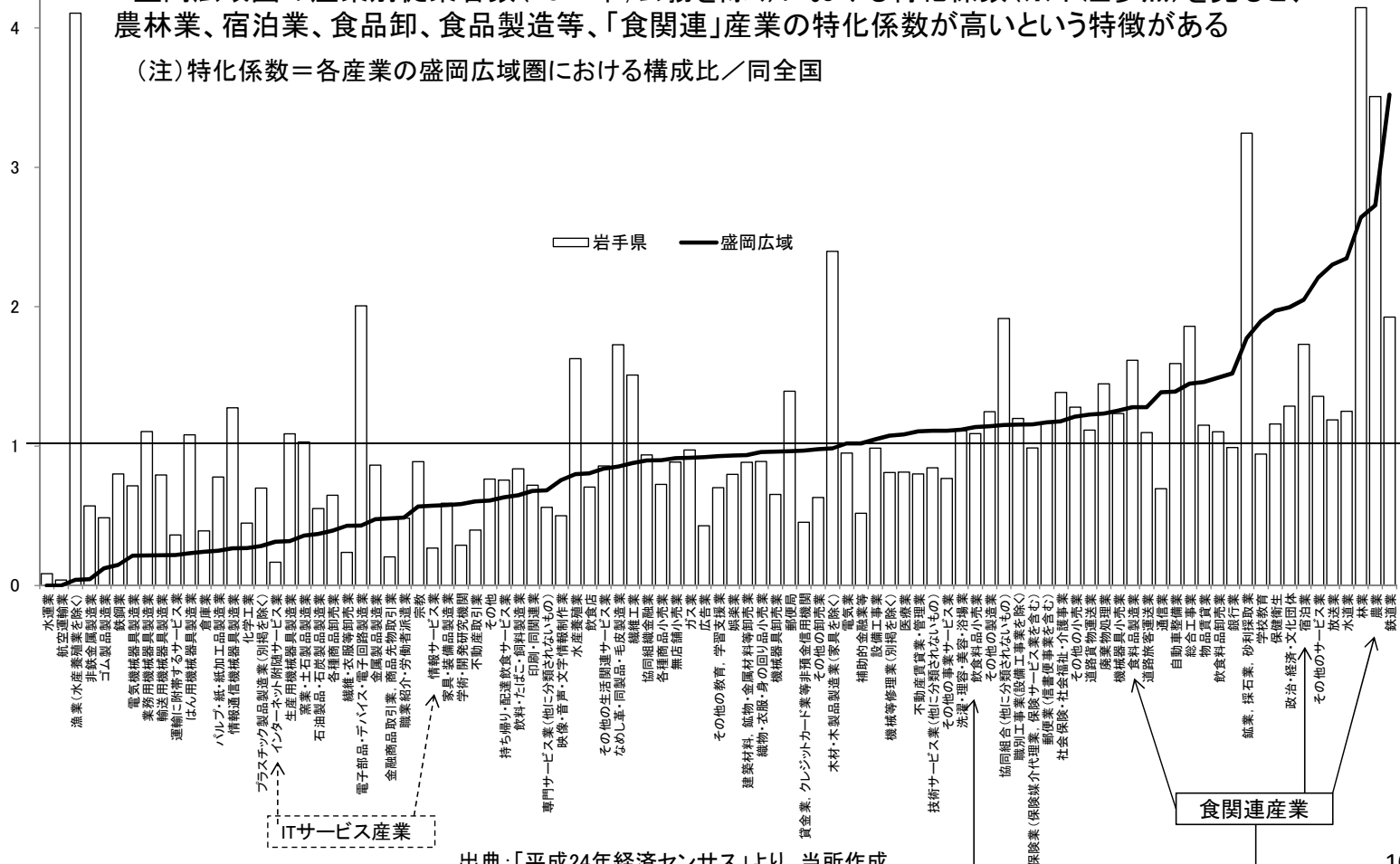
(備考)個人経営の農林漁業は調査対象外

出典:「平成24年経済センサス」より、当所作成

### (3) 産業別従業者数から見た盛岡広域圏の特徴

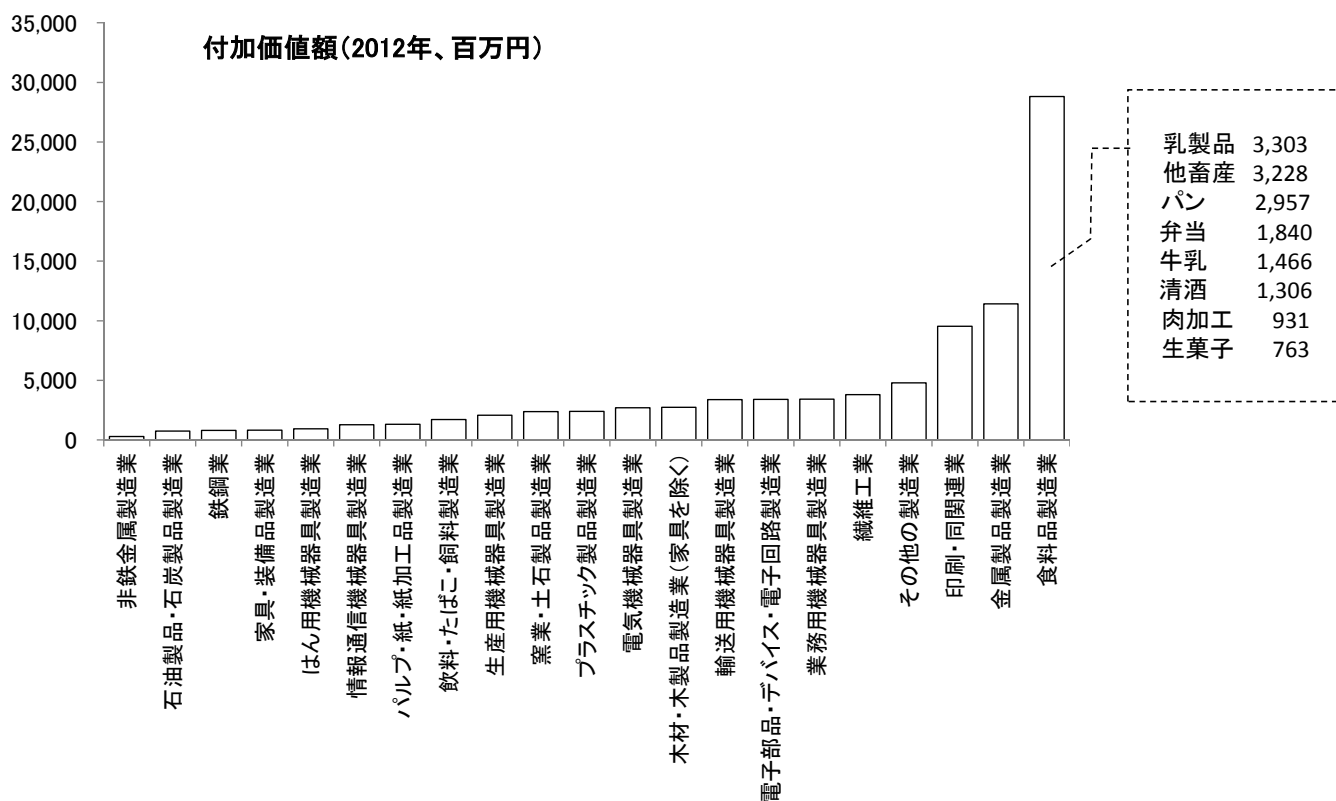
盛岡広域圏の産業別従業者数(2012年;公務を除く)における特化係数(※下注参照)を見ると、農林業、宿泊業、食品卸、食品製造等、「食関連」産業の特化係数が高いという特徴がある

(注)特化係数=各産業の盛岡広域圏における構成比/同全国



## (4) 付加価値額から見た盛岡広域圏製造業の特徴

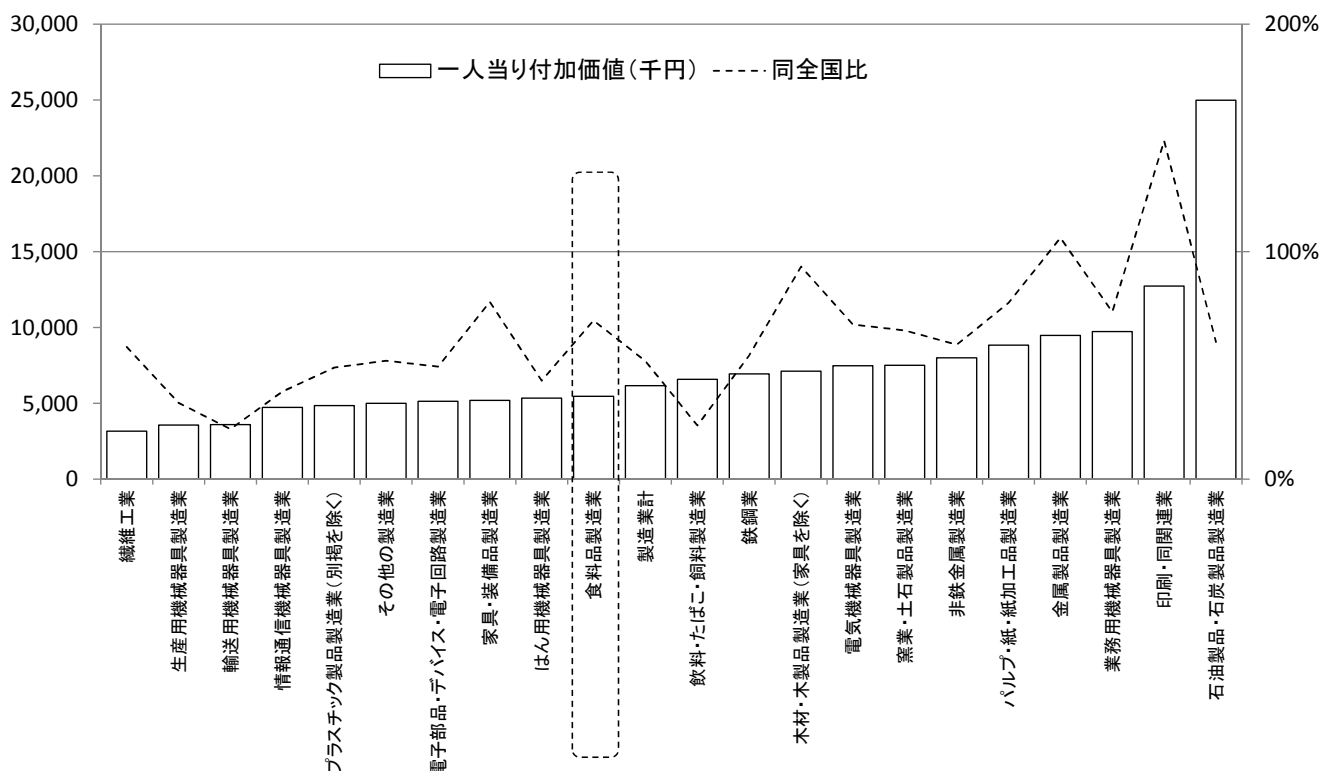
盛岡広域圏製造業の付加価値額(=GDP;2012年)の内訳を見ると、食料品製造業が最も多く、全体の約1/3を占める。食料品製造業は長らく苦境が続いてきたが、日本酒やスイーツ(←乳製品)が急成長しつつある



出典:「平成24年工業統計表 工業地区編」(経済産業省大臣官房調査統計グループ)より、当所作成

## (4) 付加価値額から見た盛岡広域圏製造業の特徴

盛岡広域圏製造業の一人当たり付加価値額(≒給与、労働生産性)を見ると、食料品製造業に象徴される労働集約型が多く、全国平均を下回っている。この改善が若年層定着に重要と考えられるが、そのためには機械化が必要。機械化のポイントとなるソフトウェアを開発するためにも、域内IT人材の活用等が望まれるところ

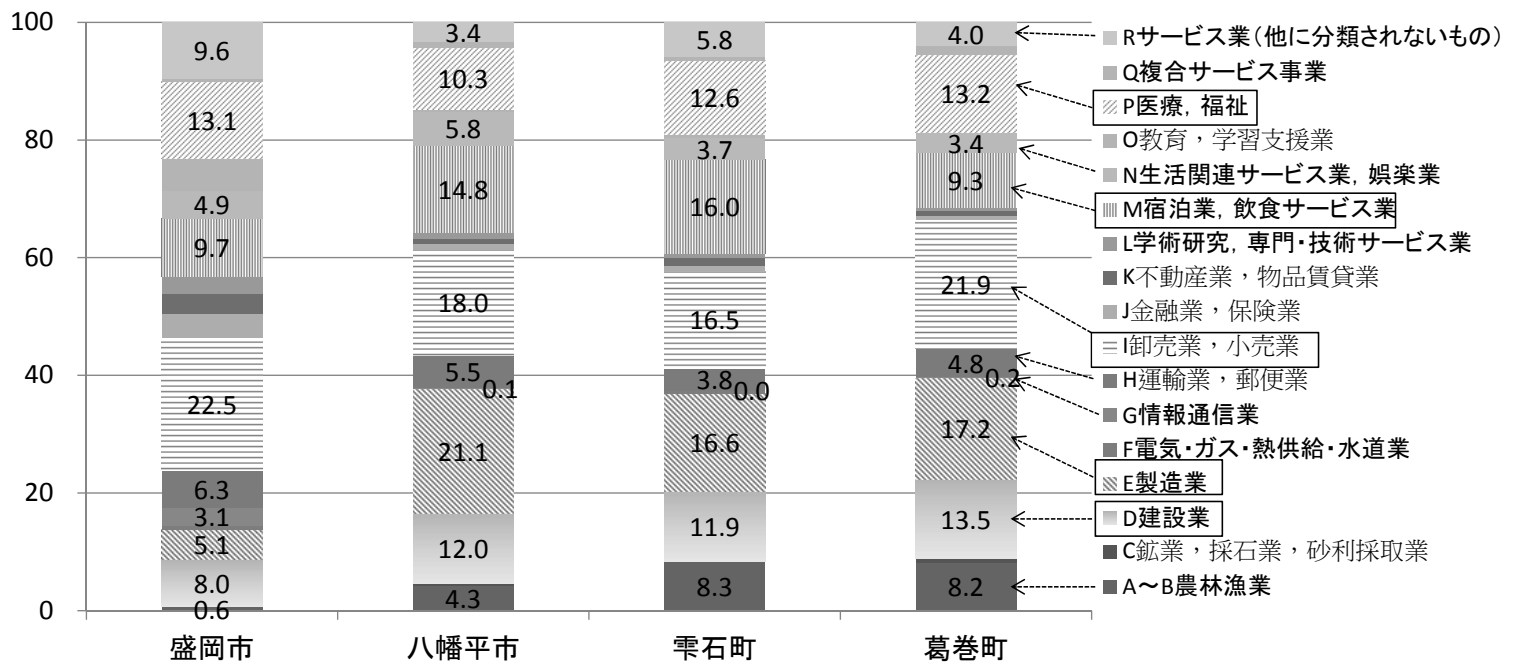


出典:「平成24年工業統計表 工業地区編」(経済産業省大臣官房調査統計グループ)より、当所作成

## (5) 各市町の産業構造－産業別従業者数の構成比

産業別従業者数(2012年)の構成比を市町ごとに見ると、広域圏の5大産業のうち、卸・小売、医療・福祉、建設は、どの市町でも大きな構成比を占めている。一方、宿泊・飲食と製造業は、構成比の差が大きい

### 産業別従業者数の構成比(%)



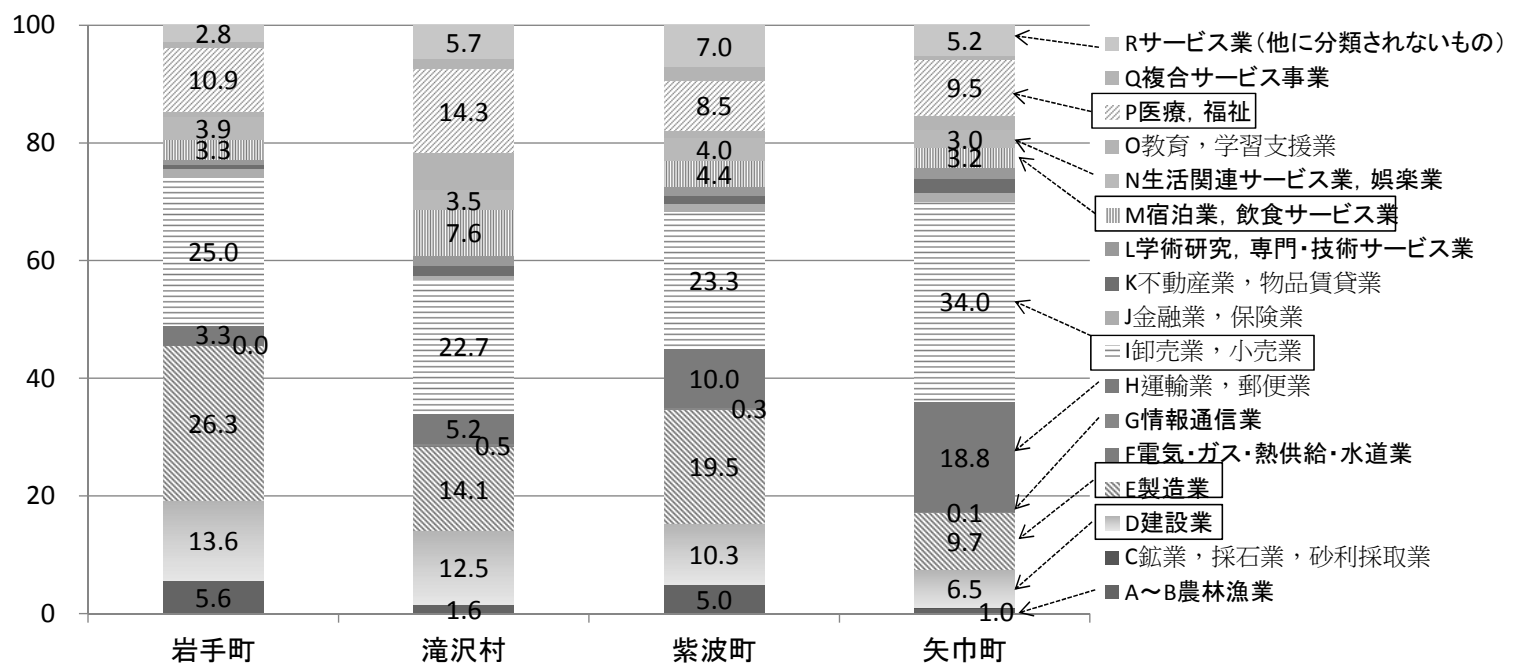
(備考)個人経営の農林漁業は調査対象外

出典:「平成24年経済センサス」より、当所作成

## (5) 各市町の産業構造－産業別従業者数の構成比

盛岡市では、製造業のウェイトが低く、岩手町・紫波町・矢巾町では、宿泊・飲食のウェイトが低い

### 産業別従業者数の構成比(%)



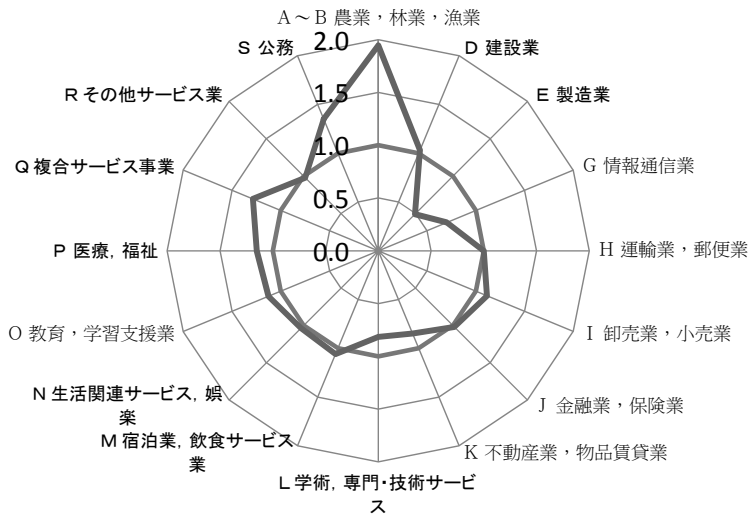
(備考)個人経営の農林漁業は調査対象外

出典:「平成24年経済センサス」より、当所作成

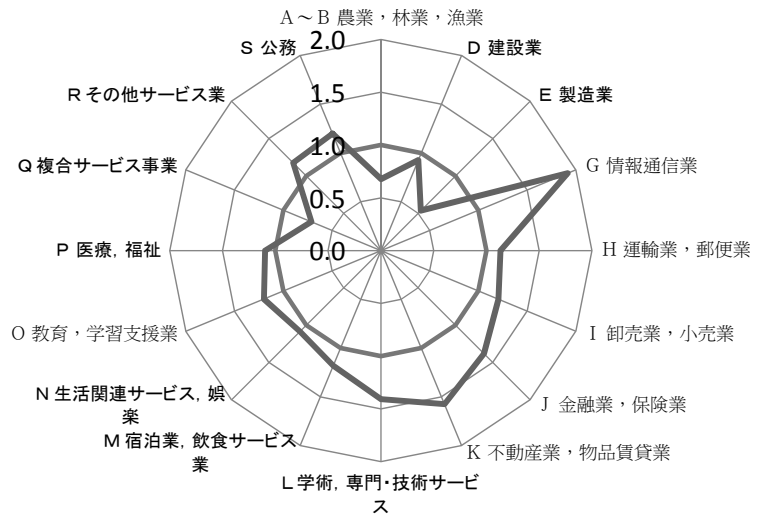
## (5) 各市町の産業構造－産業別就業者数の特化係数

盛岡広域圏の産業別就業者数(2010年)における特化係数は、全国との比較では、前述の通り農林業が高く、情報通信業は低いが、県全体との比較では、逆になる(県の中では「都市型」)

産業別就業者数 特化係数  
盛岡広域圏(全国=1)



産業別就業者数 特化係数  
盛岡広域圏(県=1)

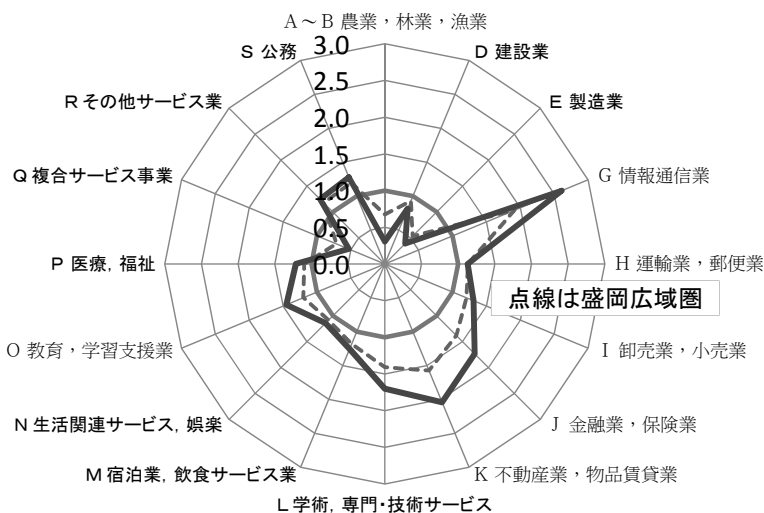


出典:「平成22年国勢調査」より、当所作成

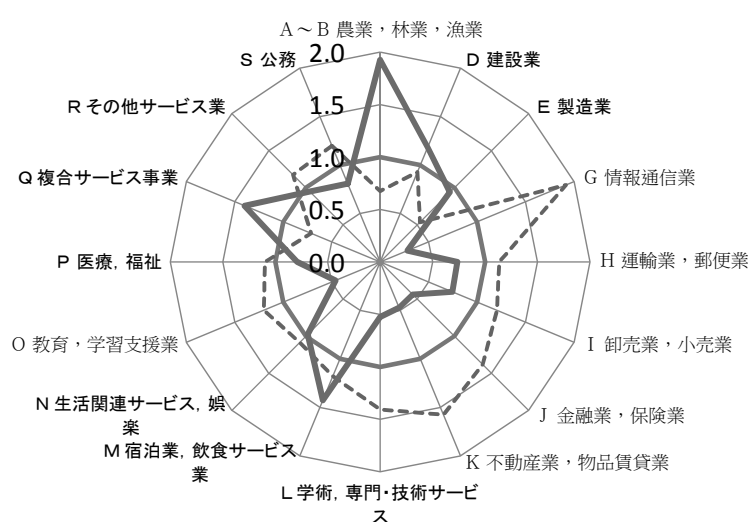
## (5) 各市町の産業構造－産業別就業者数の特化係数

盛岡市は、情報通信、不動産、金融等の都市型産業の特化係数が高い。八幡平市は、農林業や宿泊・飲食の特化係数が高い

産業別就業者数 特化係数  
盛岡市(県=1)



産業別就業者数 特化係数  
八幡平市(県=1)



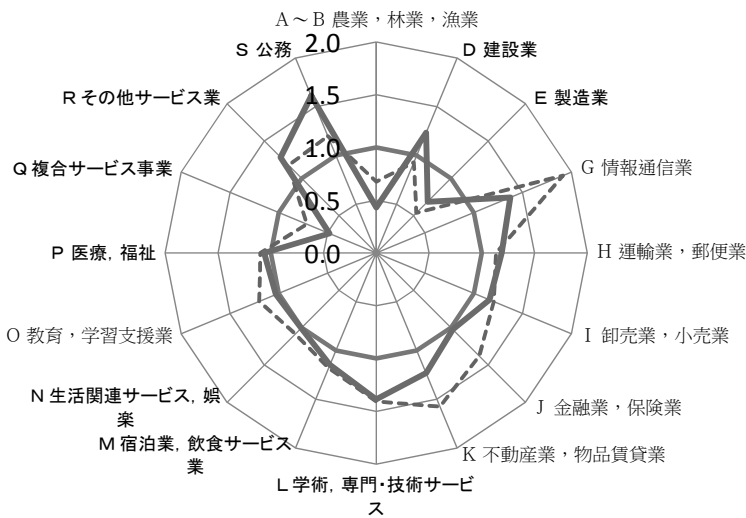
出典:「平成22年国勢調査」より、当所作成



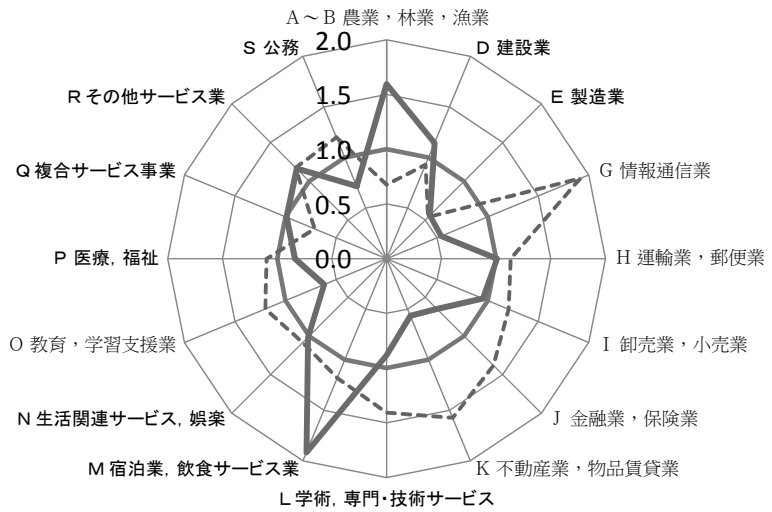
## (5) 各市町の産業構造－産業別就業者数の特化係数

滝沢市は、公務、学術の特化係数が高い。雫石町は、八幡平市と同様、農林業や宿泊・飲食の特化係数が高い

産業別就業者数 特化係数  
滝沢市(県=1)



産業別就業者数 特化係数  
雫石町(県=1)

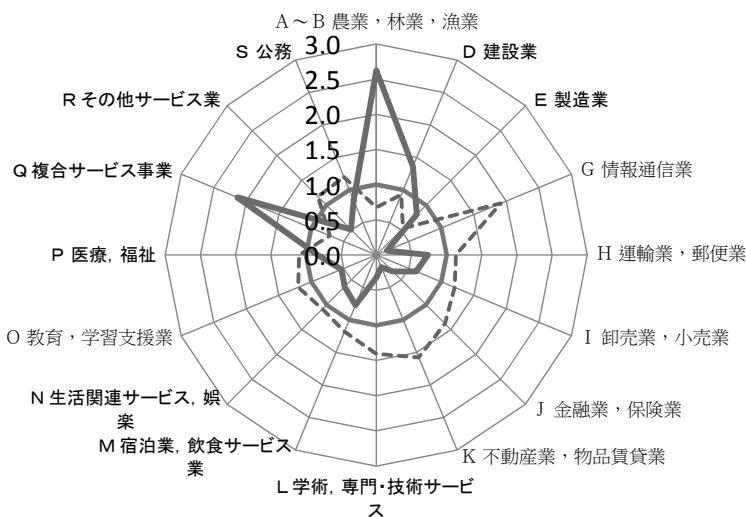


出典:「平成22年国勢調査」より、当所作成

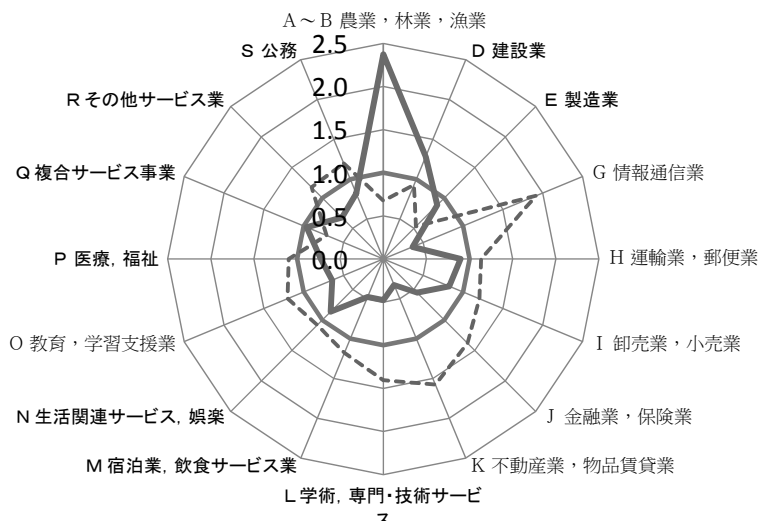
## (5) 各市町の産業構造－産業別就業者数の特化係数

葛巻町は、農林業や複合サービス(協同組合等)の特化係数が高い。岩手町は、農林業の特化係数が突出して高い

産業別就業者数 特化係数  
葛巻町(県=1)



産業別就業者数 特化係数  
岩手町(県=1)

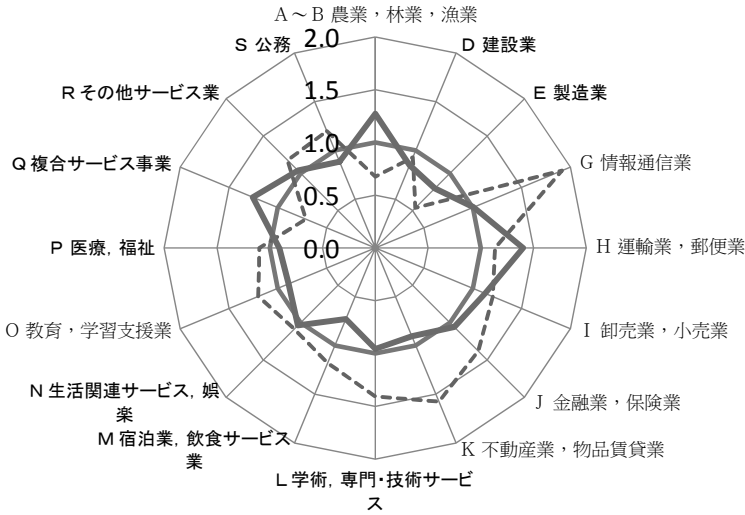


出典:「平成22年国勢調査」より、当所作成

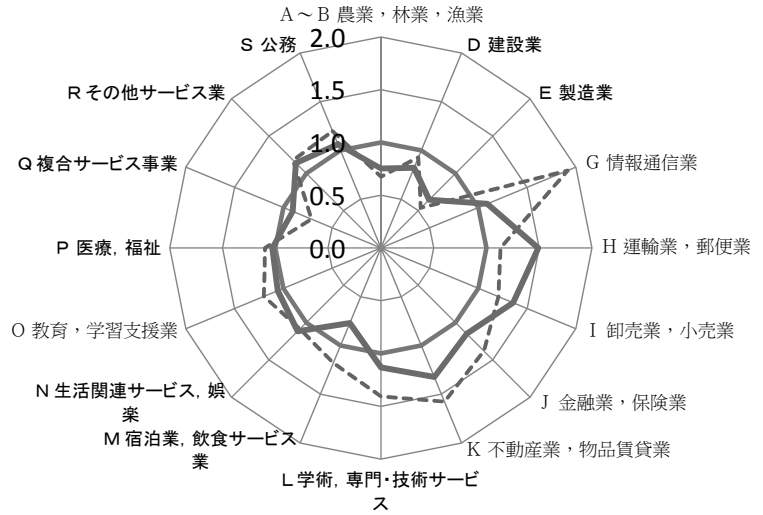
## (5)各市町の産業構造－産業別就業者数の特化係数

紫波町・矢巾町とも、県全体に近いが、ともに運輸業の特化係数が高い

産業別就業者数 特化係数  
紫波町(県=1)



産業別就業者数 特化係数  
矢巾町(県=1)



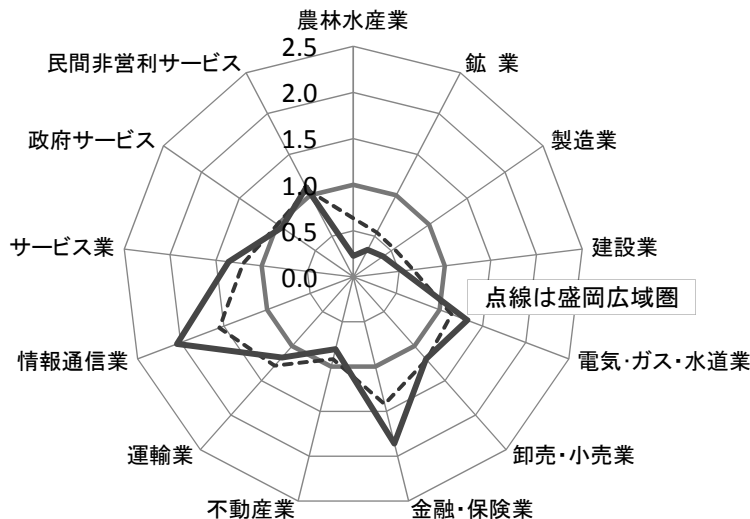
出典:「平成22年国勢調査」より、当所作成

19

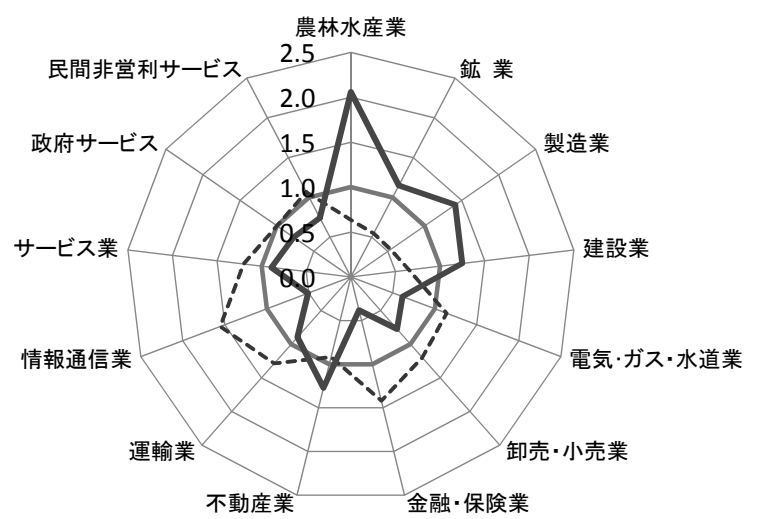
## (5)各市町の産業構造－域内純生産の特化係数

各市町の域内純生産(2011年度)を見ると、盛岡市は、情報通信、金融等の特化係数が高い。八幡平市は、農林業の特化係数が高い

市町内純生産 特化係数  
盛岡市(県=1)



市町内純生産 特化係数  
八幡平市(県=1)



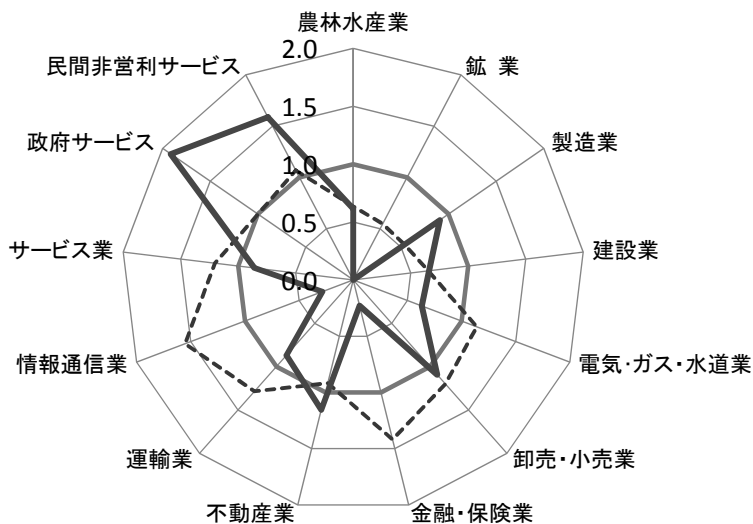
(出典)「岩手県の市町村村民所得(平成23年度)」(岩手県政策地域部)より、当所作成

20

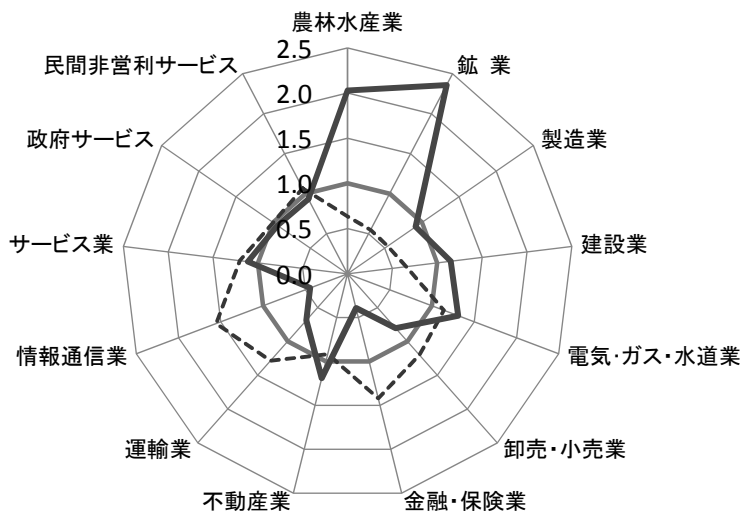
## (5) 各市町の産業構造－域内純生産の特化係数

滝沢市は、政府サービス、民間非営利サービス(私立学校等)の特化係数が高い。雫石町は、農林業の特化係数が高い

市町内純生産 特化係数  
滝沢市(県=1)



市町内純生産 特化係数  
雫石町(県=1)

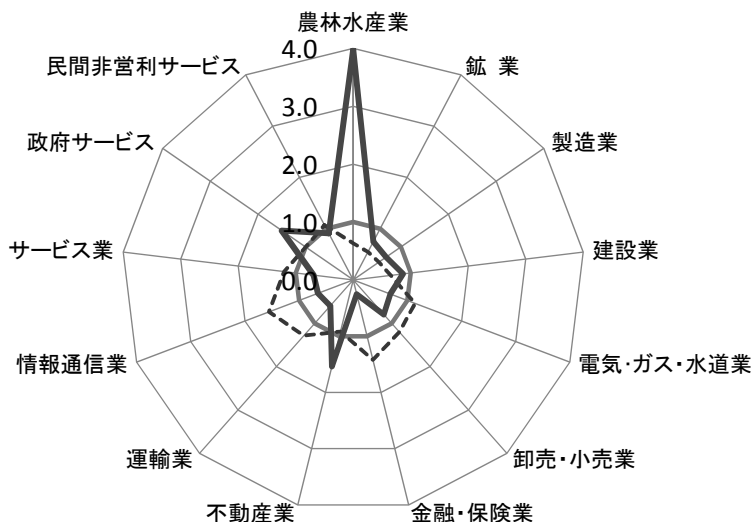


(出典)「岩手県の市町村村民所得(平成23年度)」(岩手県政策地域部)より、当所作成

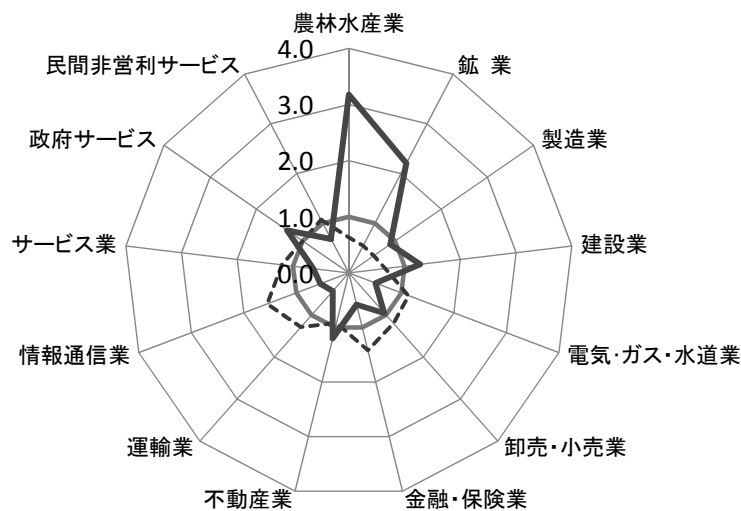
## (5) 各市町の産業構造－域内純生産の特化係数

葛巻町・岩手町とも、農林業の特化係数が突出して高い

市町内純生産 特化係数  
葛巻町(県=1)



市町内純生産 特化係数  
岩手町(県=1)

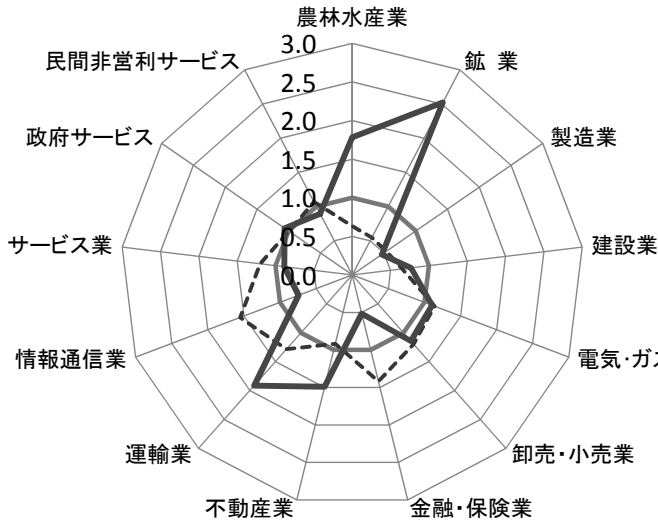


(出典)「岩手県の市町村村民所得(平成23年度)」(岩手県政策地域部)より、当所作成

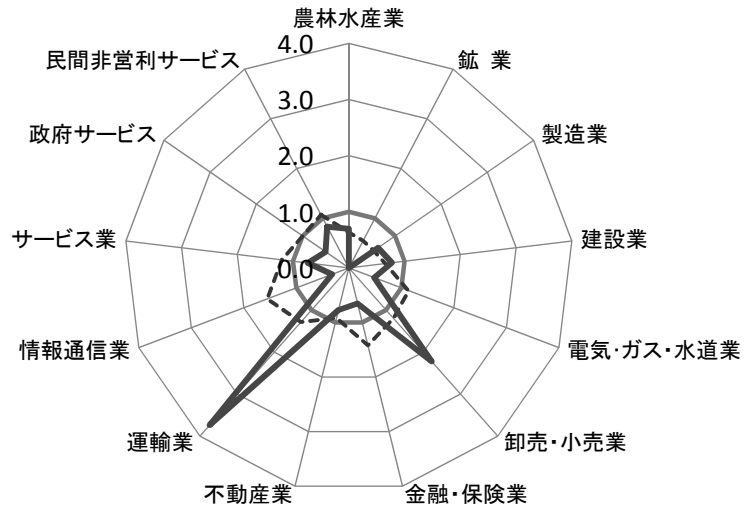
## (5) 各市町の産業構造－域内純生産の特化係数

紫波町は、運輸業と農林業の特化係数が高い。矢巾町は、運輸業の特化係数が突出して高く、また卸売・小売業の特化係数も高い

市町内純生産 特化係数  
紫波町(県=1)



市町内純生産 特化係数  
矢巾町(県=1)

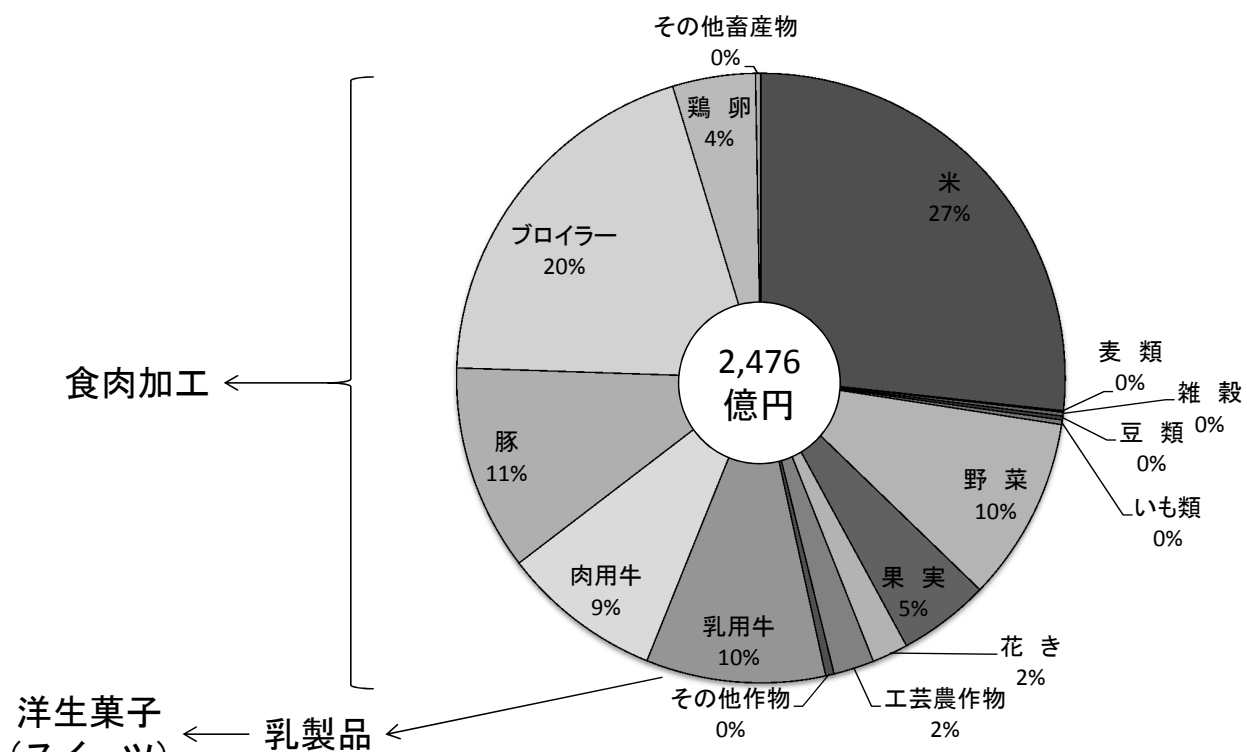


(出典)「岩手県の市町村所得(平成23年度)」(岩手県政策地域部)より、当所作成

## (6) 農業面における盛岡広域圏の特徴

岩手県は、農業産出額に占める畜産のウェイトが高い。これが食肉加工や洋生菓子生産を支えている。盛岡広域圏においても、同様に畜産のウェイトは高い(49%; 2006年)

岩手県農業産出額(2012)

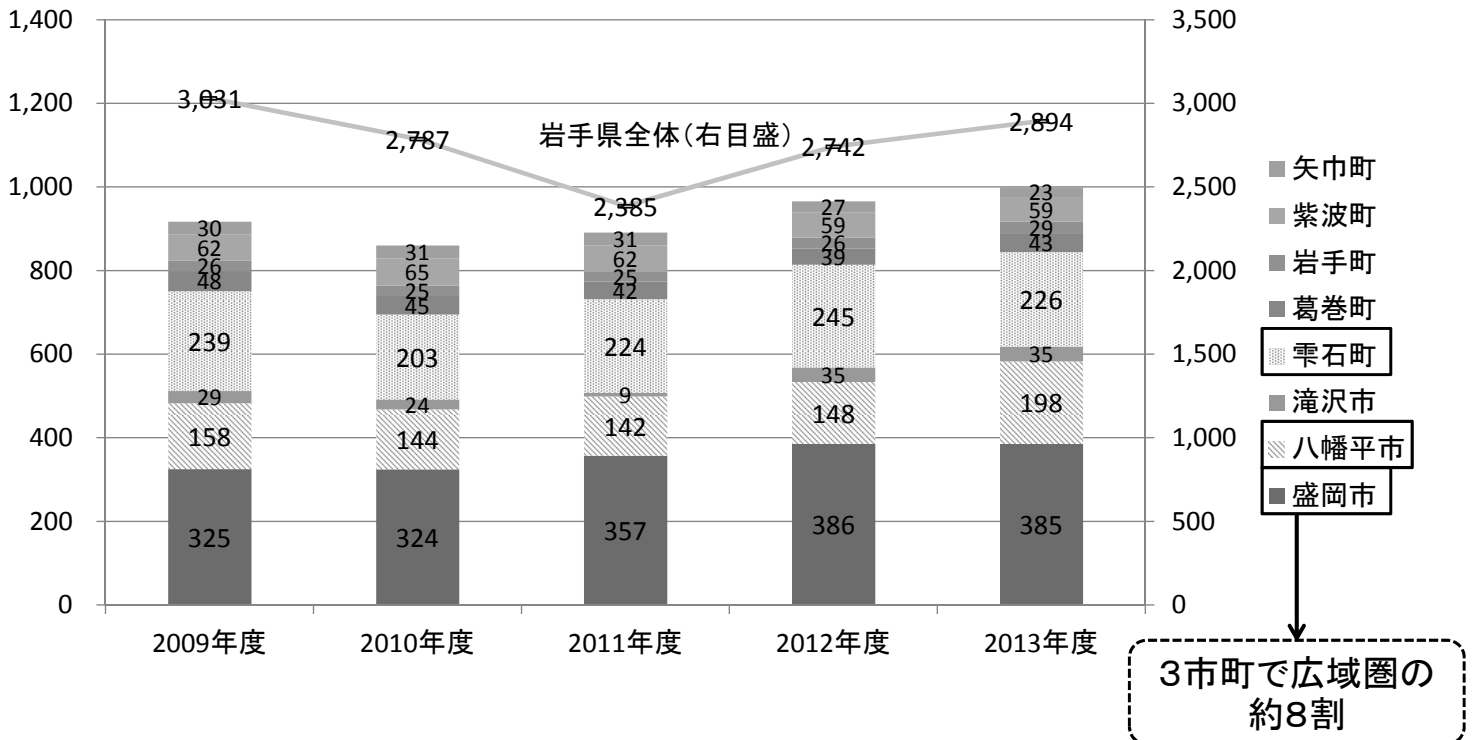


(出典)「生産農業所得統計(平成24年)」(農林水産省)より、当所作成

## (7) 盛岡広域圏の観光動向

盛岡広域圏の観光客入込数は、東日本大震災後、順調に回復（岩手県全体では完全には回復していない）

### 観光客入込数の推移(延べ数;万人回)

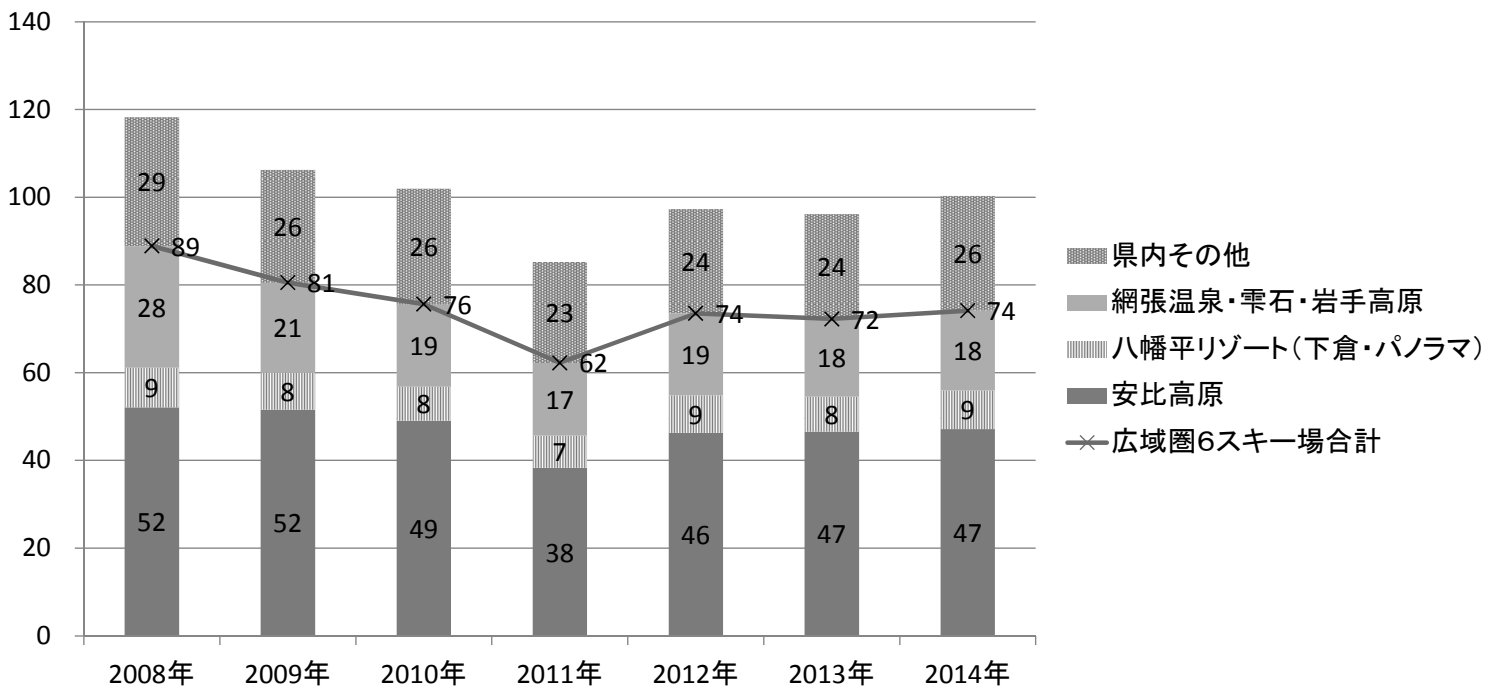


(出典)「岩手県観光統計概要(平成25年度)」(岩手県商工労働観光部)より、当所作成

## (7) 盛岡広域圏の観光動向

スキー客については、国内スキー人口が減少する中、東日本大震災後も低水準が継続。外国人の誘客には、広域連携が有効

### スキー客の入込推移(延べ数;万人回)



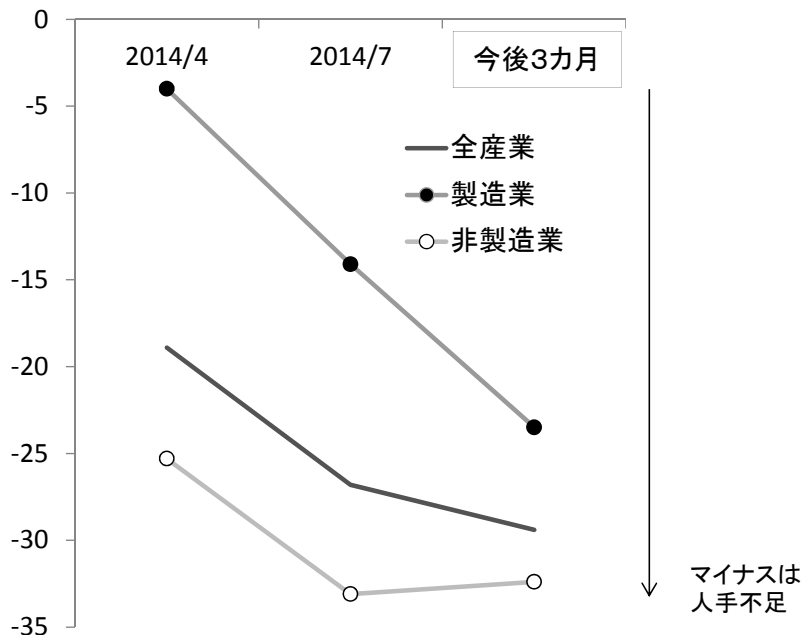
(出典)「いわての観光統計(平成26年シーズン)」(岩手県商工労働観光部)より、当所作成

## (8) 盛岡広域圏の雇用の現状－雇用指標(労働力不足)

調査チームである岩手経済研究所の独自調査によると、岩手県内企業の雇用人員BSI(過剰－不足)は、マイナス幅が拡大し急速に人手不足感が強まっており、盛岡広域圏でも同様の傾向にあると考えられる。これは震災復興に加え、生産年齢人口減少の影響が本格化したためとみられる

岩手県内企業 雇用人員BSI(過剰-不足)

	2014/4	2014/7	今後3カ月
全産業	-18.9	-26.8	-29.4
製造業	-4	-14.1	-23.5
食料品	-40	-33.3	-33.3
金属製品	0	-28.6	-42.8
電気機械	28.6	25	12.5
非製造業	-25.3	-33.1	-32.4
建設	-45.5	-38.1	-47.6
小売	-22.2	-28.1	-25
サービス	-19	-42.4	-42.3

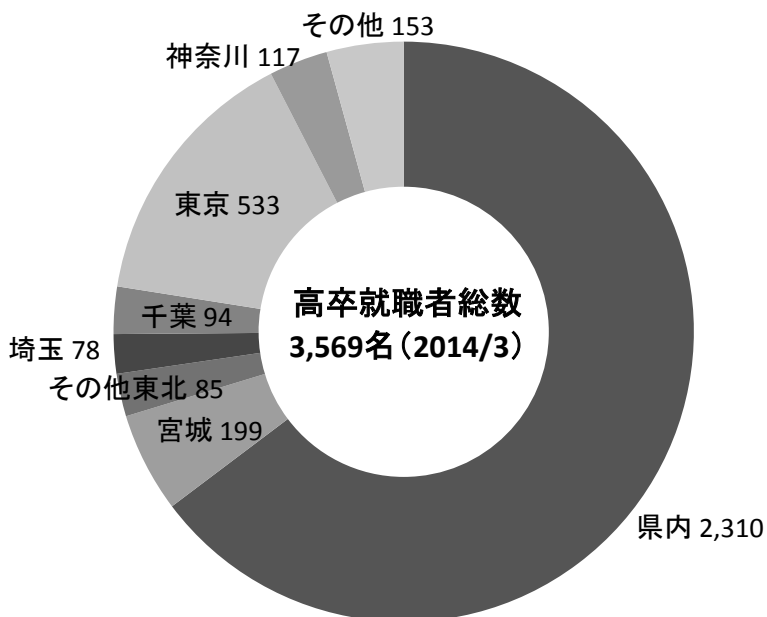


(出典)「岩手県内企業景況調査(平成26年7月)」(一般財団法人岩手経済研究所)

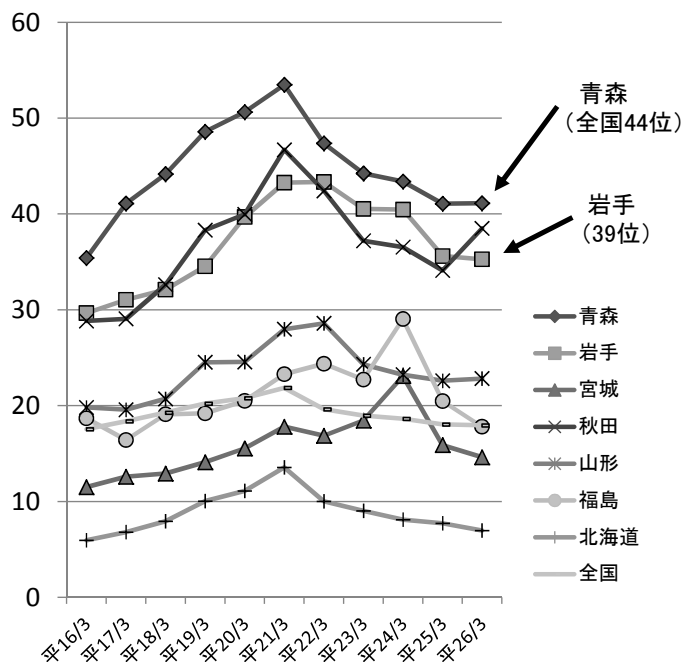
27

## (8) 盛岡広域圏の雇用の現状－高卒就職者の県外転出

岩手県高卒・県外就職者1,259人(2014年3月卒)のうち、約2/3にあたる822人が首都圏(東京・千葉・神奈川・埼玉)を選択。岩手県は、全国的に見て県外転出割合が高く、盛岡広域圏においても、県外転出者が比較的多いと思われる



高卒就職者の県外転出割合(%)



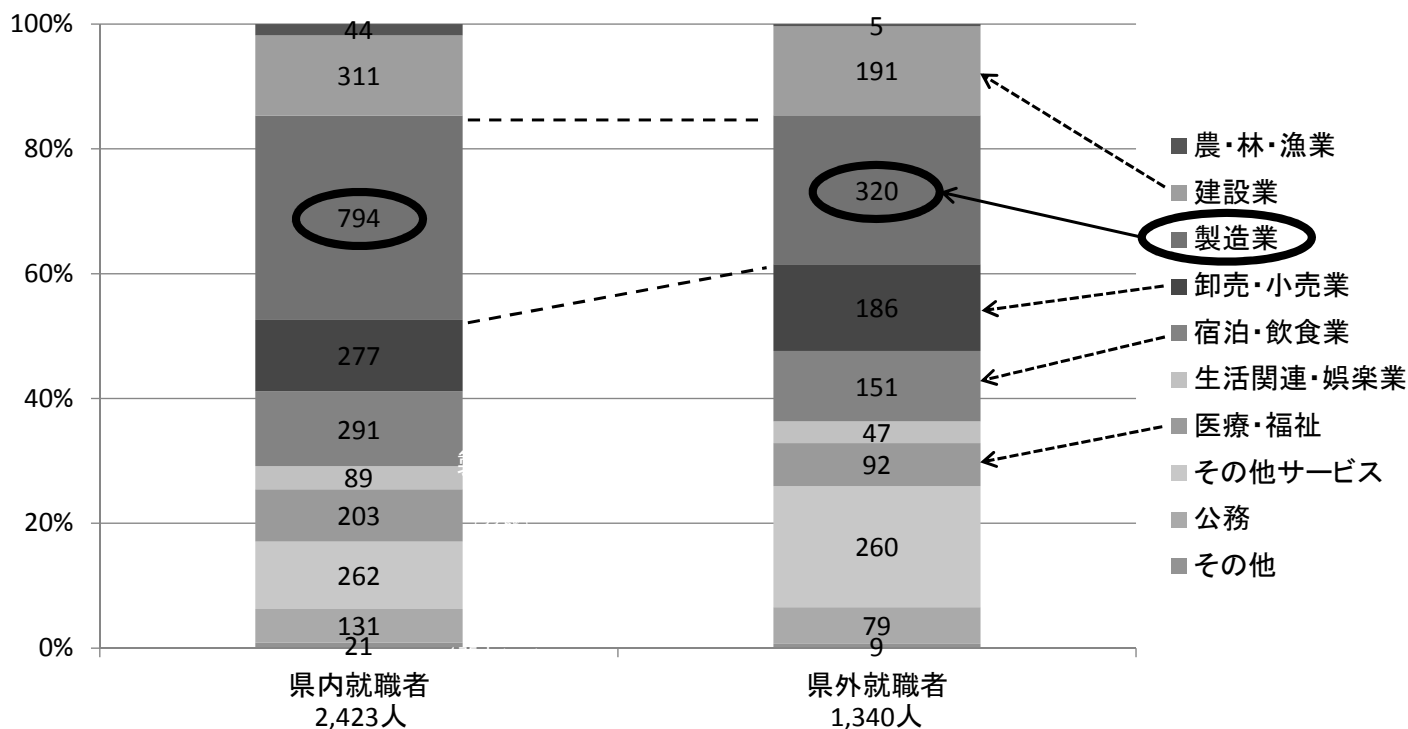
(出典)「学校基本調査(平成26年度速報)」(文部科学省)

28

## (8) 盛岡広域圏の雇用の現状－高卒就職者の就職先業種

高卒県内就職の最大分野は製造業である(3割超が製造業に就職)。盛岡広域圏以外の製造業が盛んな地域に就職する高校生も少なくないと思われる

### 高卒就職者の産業別就職先(2013/3卒)

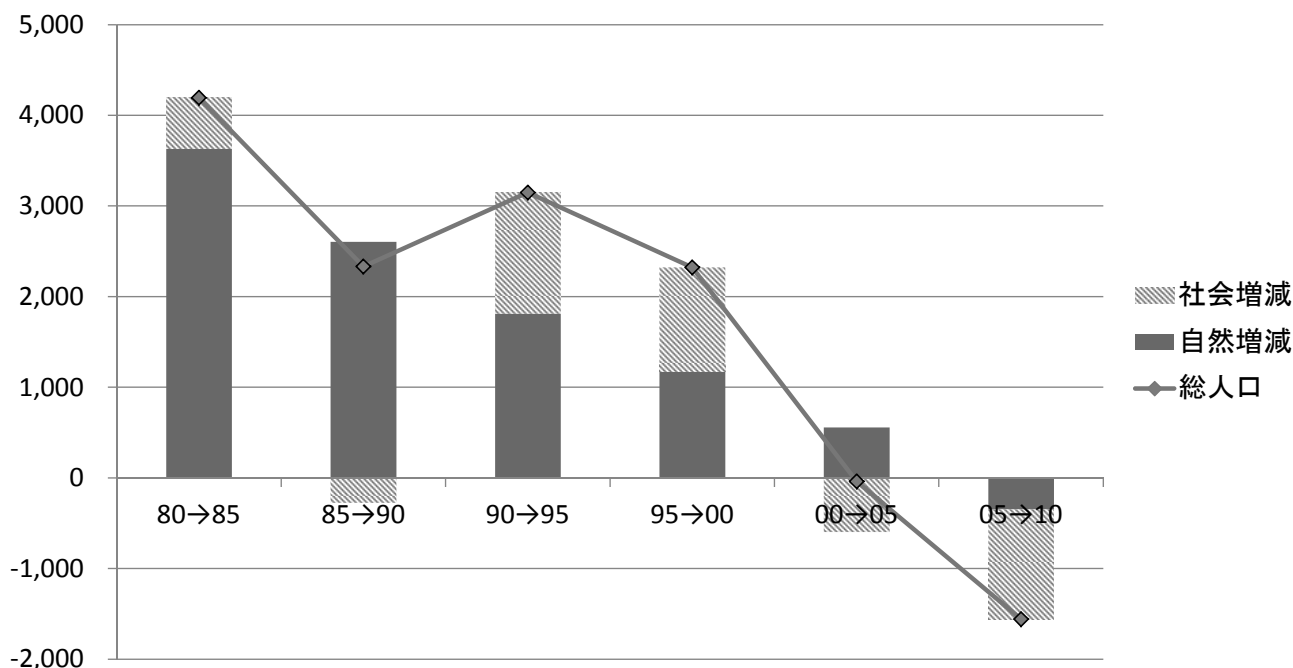


(出典)「学校基本調査(平成25年度)」(文部科学省)

## (9) 盛岡広域圏の人口移動－過去の人口増減

盛岡広域圏は、2000年代前半から社会増減がマイナスに転じ、さらに2000年代後半には自然増減もマイナスに転じている

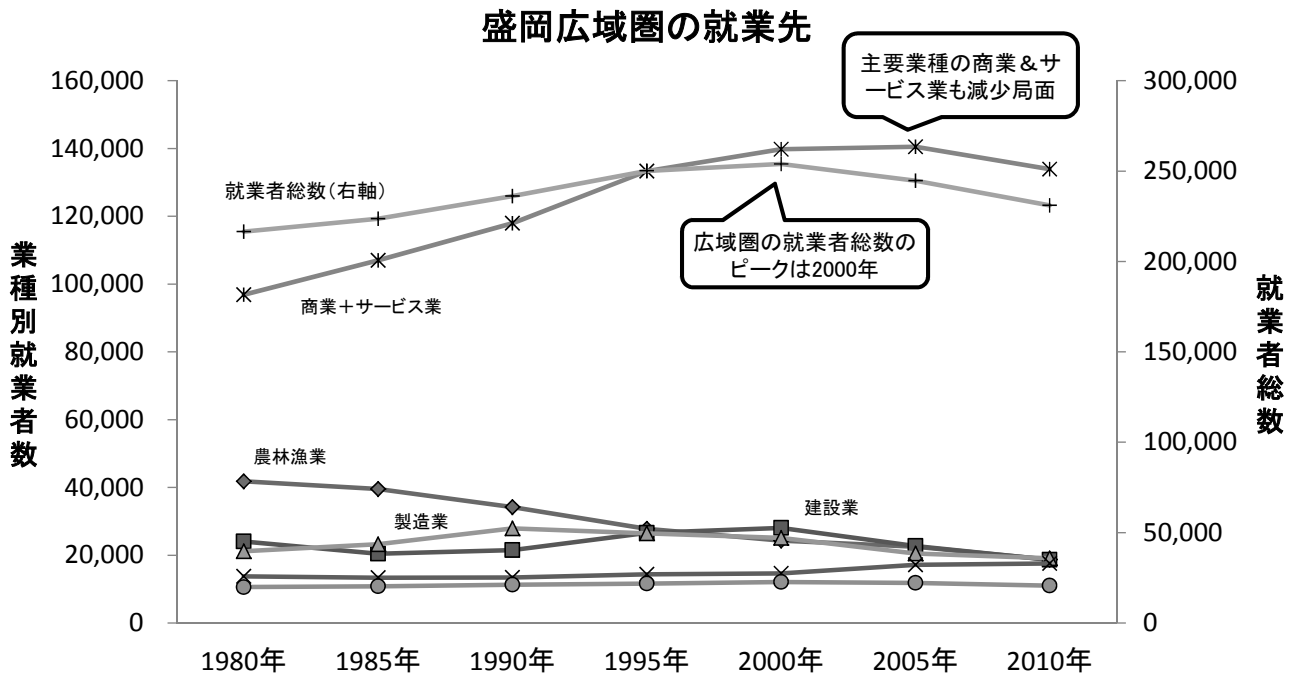
### 過去の人口増減(1年当たり換算)



(出典)「岩手県人口動態統計」(岩手県環境保健研究センター)より、当所作成

## (9) 盛岡広域圏の人口移動－就業者数の推移

盛岡広域圏の就業者総数のピークは2000年。2005年の減少は主に社会移動(流出)によるものであるが、2010年には自然減が加わり、減少に拍車がかかっている。このことが人手不足の背景になっていると考えられる

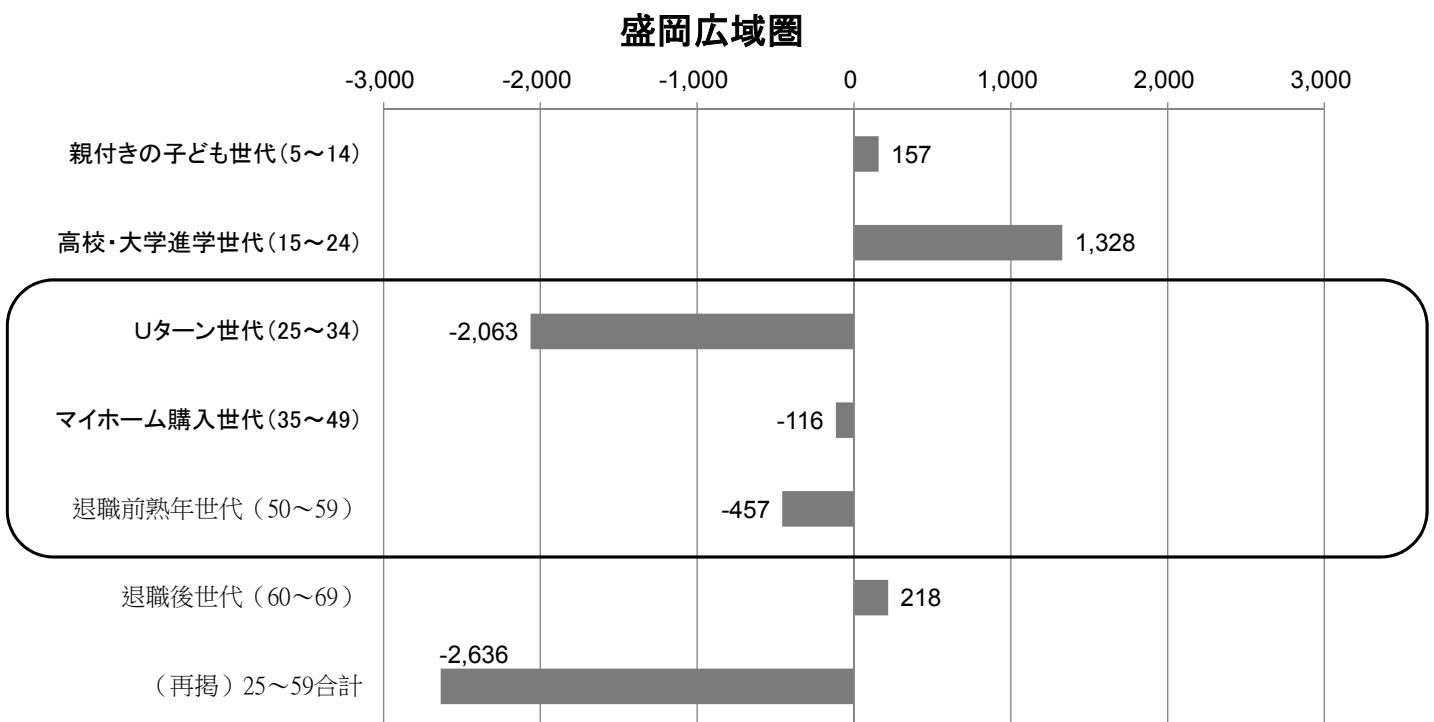


出典:「平成22年国勢調査」より、当所作成

31

## (9) 盛岡広域圏の人口移動－社会移動の状況

2005-10年における盛岡広域圏の社会移動を整理すると、就職期の流出が目立つ(Uターン世代がUターンしない)



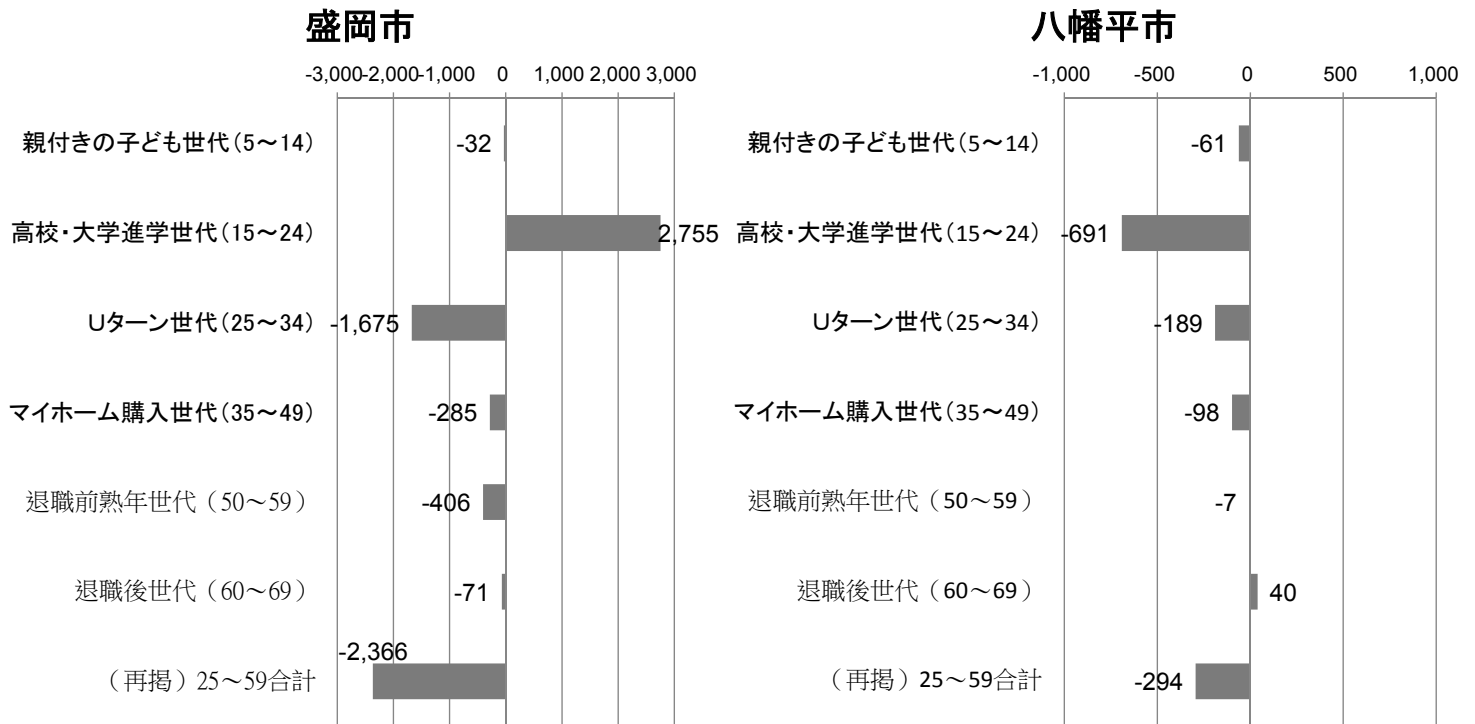
出典:「平成22年国勢調査」より、当所作成

32



## (9) 盛岡広域圏の人口移動－社会移動の状況

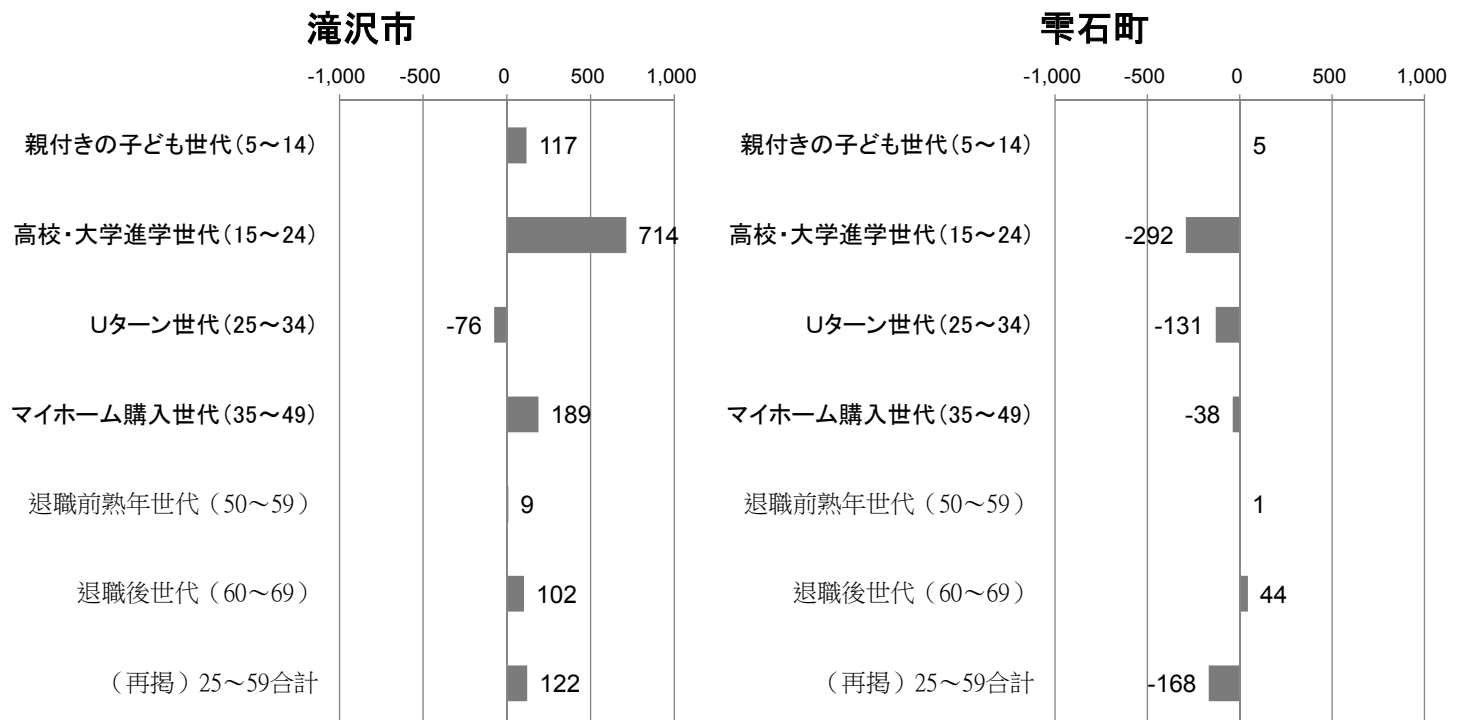
盛岡市は、盛岡広域圏と同様に、就職期の流出が目立つ。八幡平市は、ほぼ全世代にわたって流出している



出典:「平成22年国勢調査」より、当所作成

## (9) 盛岡広域圏の人口移動－社会移動の状況

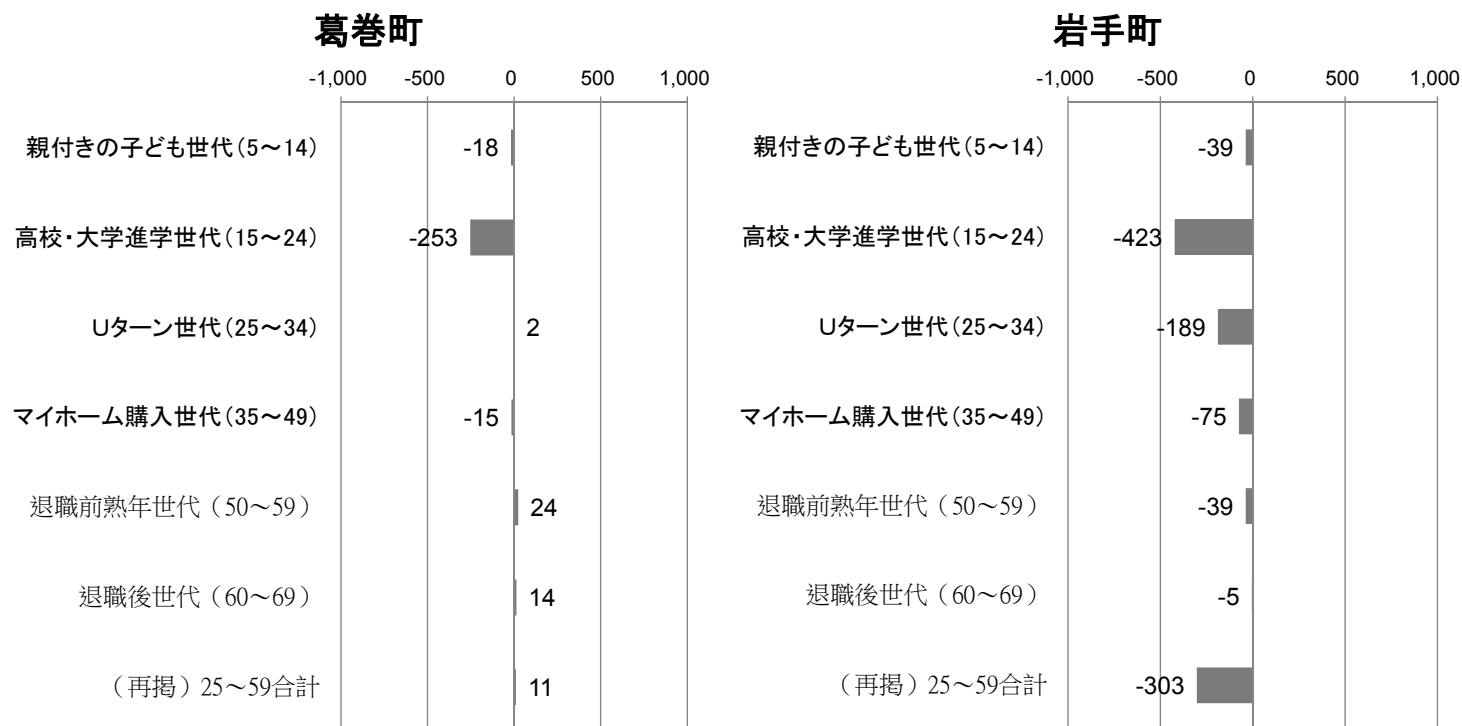
滝沢市は、ほぼ全世代にわたって流入しているが、Uターン世代のみが流出している。雫石町は、進学世代と就職期に流出している



出典:「平成22年国勢調査」より、当所作成

## (9) 盛岡広域圏の人口移動－社会移動の状況

葛巻町は、進学世代の流出が目立つ。岩手町は、全世代にわたって流出

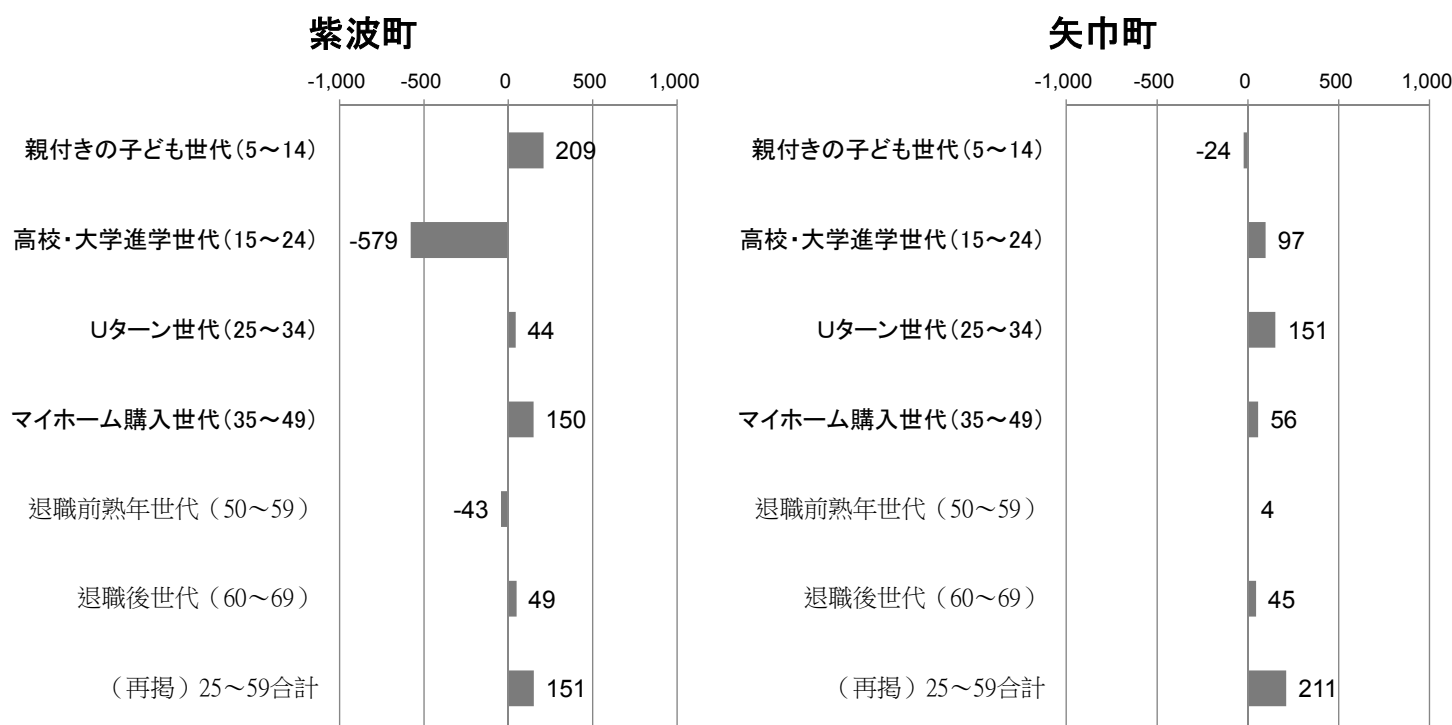


出典:「平成22年国勢調査」より、当所作成

35

## (9) 盛岡広域圏の人口移動－社会移動の状況

紫波町は、就職期に流入しているが、進学世代では流出。矢巾町は、ほぼ全世代にわたって流入しており、就職期の流入超過人数は8市町で最大



出典:「平成22年国勢調査」より、当所作成

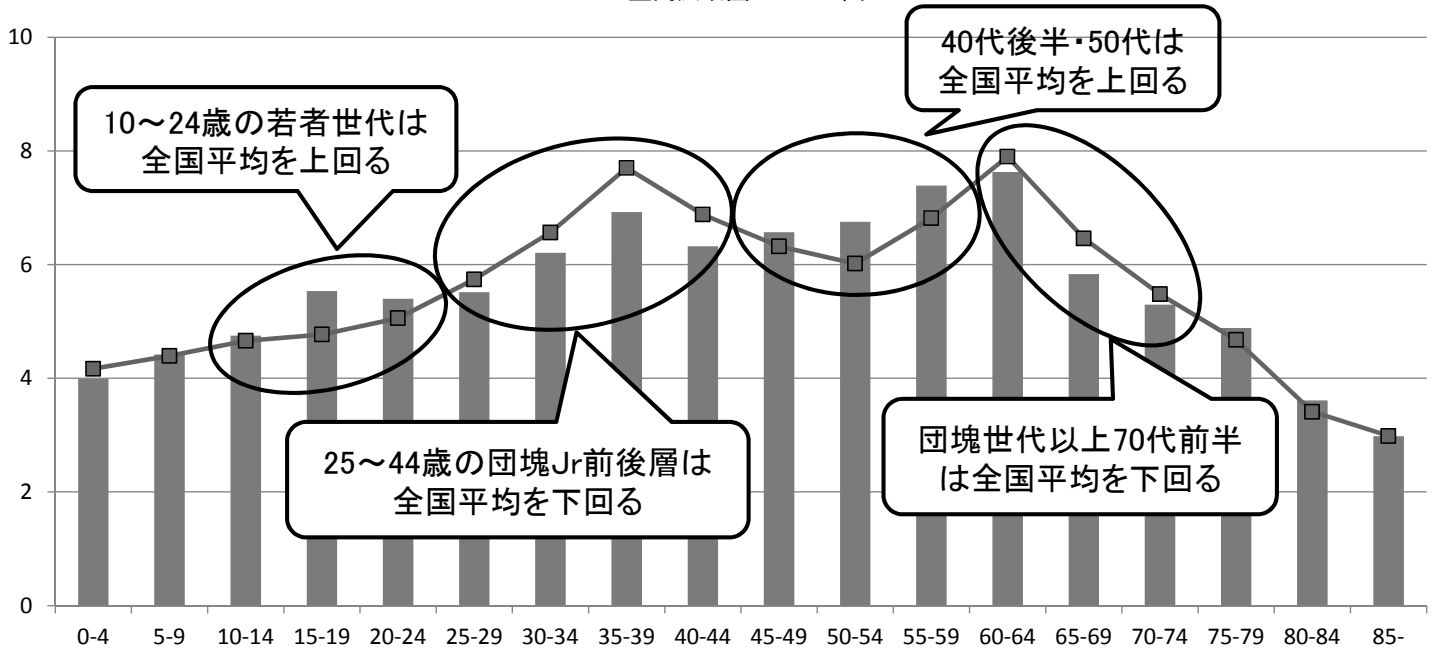
36

## (9) 盛岡広域圏の人口移動－全国との比較

盛岡広域圏の人口構成(2010年)を全国と比較して見ると、25-44歳の相対的な少なさが目立つ

### 年齢別人口構成 全国との比較(2010年)(%)

■ 盛岡広域圏 ■ 全国

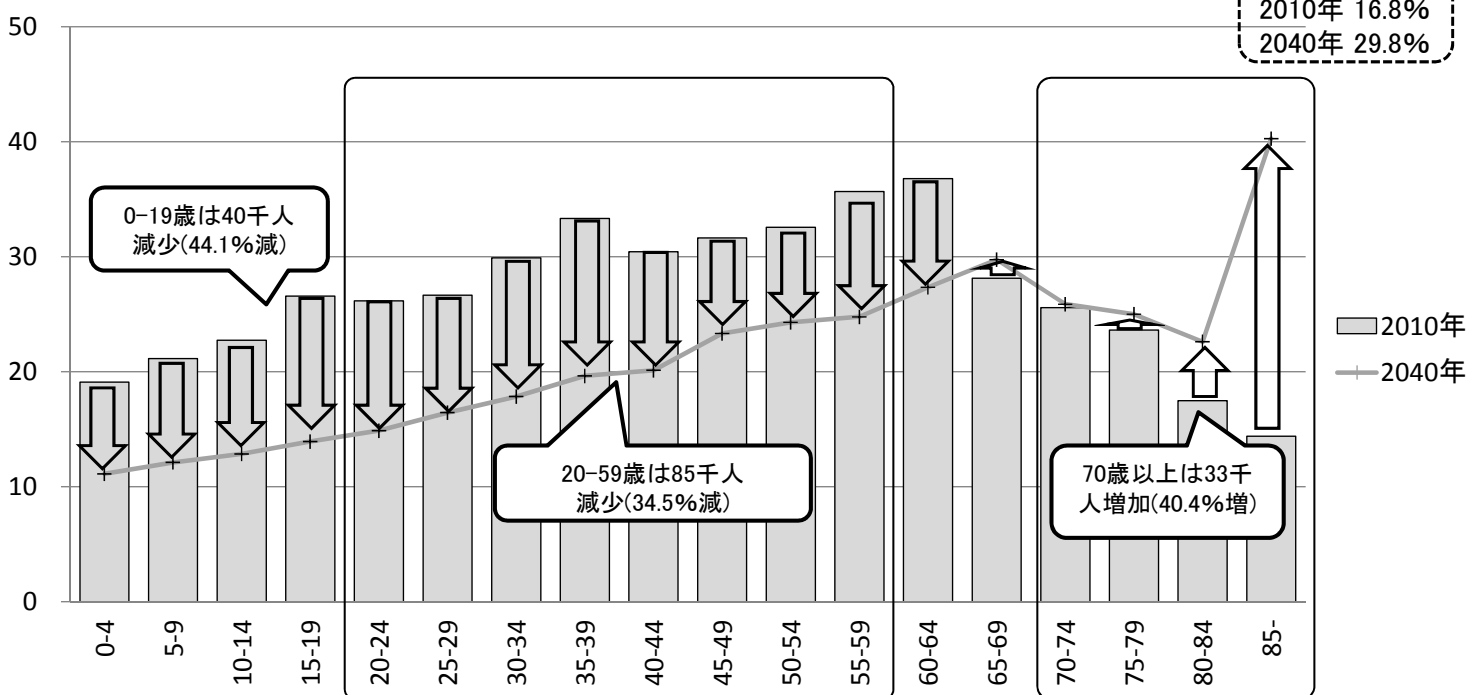


出典:「平成22年国勢調査」より、当所作成

## (9) 盛岡広域圏の人口移動－2040年の推計値

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、盛岡広域圏では、今後はさらに若年層の減少が著しい

### 年齢別人口構成(2010年と2040年推計値の比較)(千人)



出典:「日本の地域別将来推計(平成25年3月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)より、当所作成

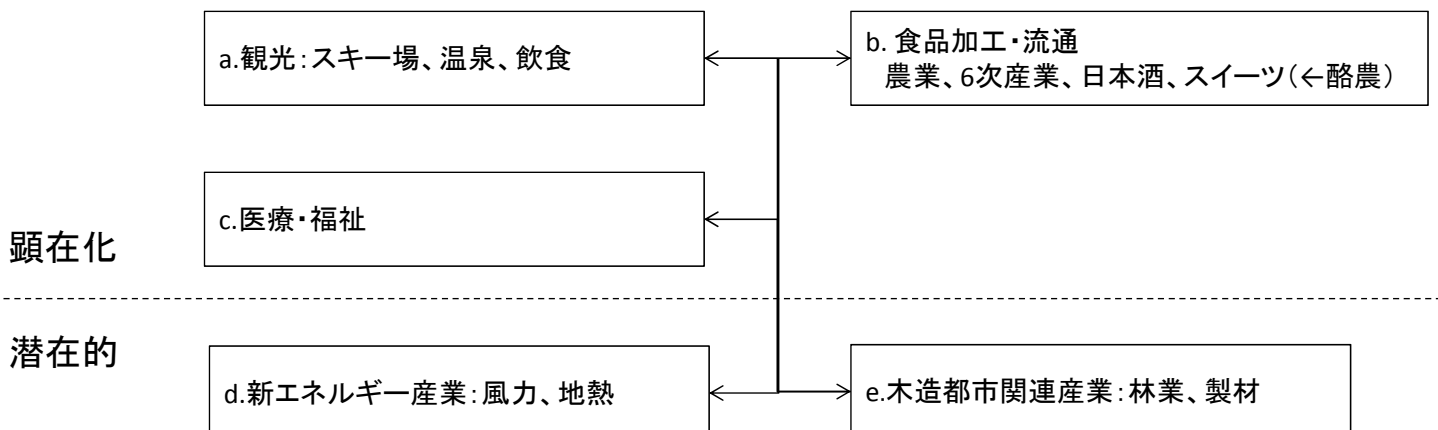
## 2. 経済成長における 盛岡広域圏の優位性及び課題

### (1) 盛岡広域圏の産業群の全体像

商工業、農業(6次産業化含む)、観光産業等は、地域資源を活用した産業群と整理される。盛岡広域圏の場合、具体的には下記のa~eである。すでに活況を呈し顕在化している分野と、可能性を有する潜在的な分野に大別される

#### 【商工業、農業(6次産業化含む)、観光産業等】

- a.観光:スキー場、温泉、飲食
- b.食品加工・流通:農業、6次産業、日本酒、スイーツ(←乳製品)
- c.医療・福祉
- d.再生可能エネルギー産業:風力、地熱
- e.木造都市関連産業:林業、製材



## (2) 盛岡広域圏の地域産業資源

「中小企業地域資源活用促進法」に基づく基本構想で指定された盛岡広域圏の地域産業資源を列挙すると、以下の通り

		8市町共通	盛岡市	八幡平市	滝沢市	雫石町
農林水産物	農作物	米 大豆 麦 ヤマブドウ りんご	アロニア 行者にんにく 津志田の芋の子 わさび	ほうれんそう	スイカ	きゅうり ねぎ わさび
	畜産	いわて牛 いわて短角和牛 牛乳 鶏 豚				
	林業		漆 カラマツ	漆 カラマツ	漆 カラマツ	
	水産			ヒメマス	イワナ	
鉱工業品等	加工食品	日本酒	地ビール類 じゃじゃ麺 南部煎餅 盛岡冷麺 わんこそば	南部煎餅 味噌		どぶろく

41

## (2) 盛岡広域圏の地域産業資源

		8市町共通	盛岡市	八幡平市	滝沢市	雫石町
鉱工業品等 (続き)	工業製品		金型 コバルト合金 酸化亜鉛 自動車部品 電子部品・デバイス トリアジンチオール 半導体製造装置	コバルト合金 酸化亜鉛 自動車部品 電子部品・デバイス 半導体製造装置	コバルト合金 酸化亜鉛 自動車部品 電子部品・デバイス 半導体製造装置	自動車部品 電子部品・デバイス 半導体製造装置
	伝統的 工芸品等		岩谷堂筆筒 浄法寺塗 南部鉄器 秀衡塗 小型琴 ホームспан いわてコレクション	浄法寺塗 八幡平地熱染 いわてコレクション	浄法寺塗	亀甲織
観光資源		平泉の文化遺産	チャグチャグ馬コ 早坂高原 石割桜 岩洞湖 つなぎ温泉 中津川 姫神山 盛岡さんさ踊り 盛岡城跡 盛岡手づくり村 盛岡八幡宮祭典	岩手山 安比高原 旧松尾鉱山跡地 藤七温泉 八幡平 八幡平温泉郷 松川温泉	チャグチャグ馬コ 岩手山 岩手山麓の工芸 鞍掛山	岩手山 網張温泉 狼森 鶯宿温泉 国見温泉 軽トラ市 七つ森

42

## (2)盛岡広域圏の地域産業資源

		8市町共通	葛巻町	岩手町	紫波町	矢巾町
農林水産物	農作物	米 大豆 麦 ヤマブドウ りんご		キャベツ スイートコーン だいこん ながいも ピーマン ブルーベリー ほうれんそう レタス	ぶどう もち米	もち米
	畜産	いわて牛 いわて短角和牛 牛乳 鶏 豚				
	林業		アカマツ カラマツ	漆 カラマツ	漆	漆
	水産					
鉱工業品等	加工食品	日本酒	地ビール類	地ビール類 南部煎餅		

43

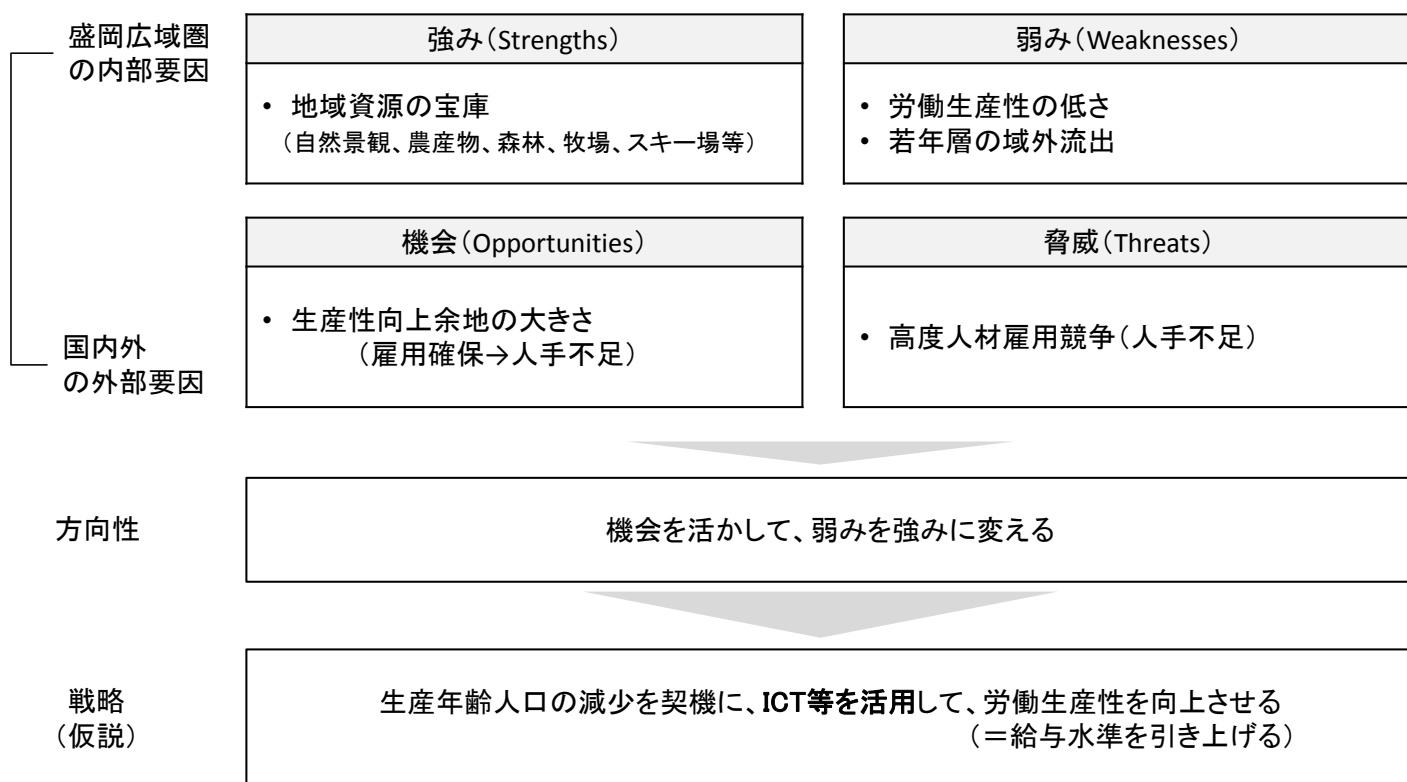
## (2)盛岡広域圏の地域産業資源

		8市町共通	葛巻町	岩手町	紫波町	矢巾町
鉱工業品等 (続き)	工業製品			酸化亜鉛 自動車部品 電子部品・デバイス 半導体製造装置	自動車部品 電子部品・デバイス 半導体製造装置	自動車部品 電子部品・デバイス 半導体製造装置
	伝統的 工芸品等		木炭			
観光資源		平泉の文化遺産		岩手町秋まつり 川口秋まつり		チャグチャグ馬コ

44

### (3) 盛岡広域圏のSWOT分析

これまで示してきた社会経済動態調査の内容等から、SWOT分析によって盛岡広域圏の優位性と課題を示すと以下の通り



45

### (4) ICTの活用－産学官連携

盛岡広域圏には、産学官連携の拠点多い。分野的には岩手県立大学ソフトウェア情報学部が象徴されるIT関連が大層を占める。またアルプス電気の開発拠点が存在(2002年撤退)したことから、同スピアウトを中心にIT関連企業の集積もみられる

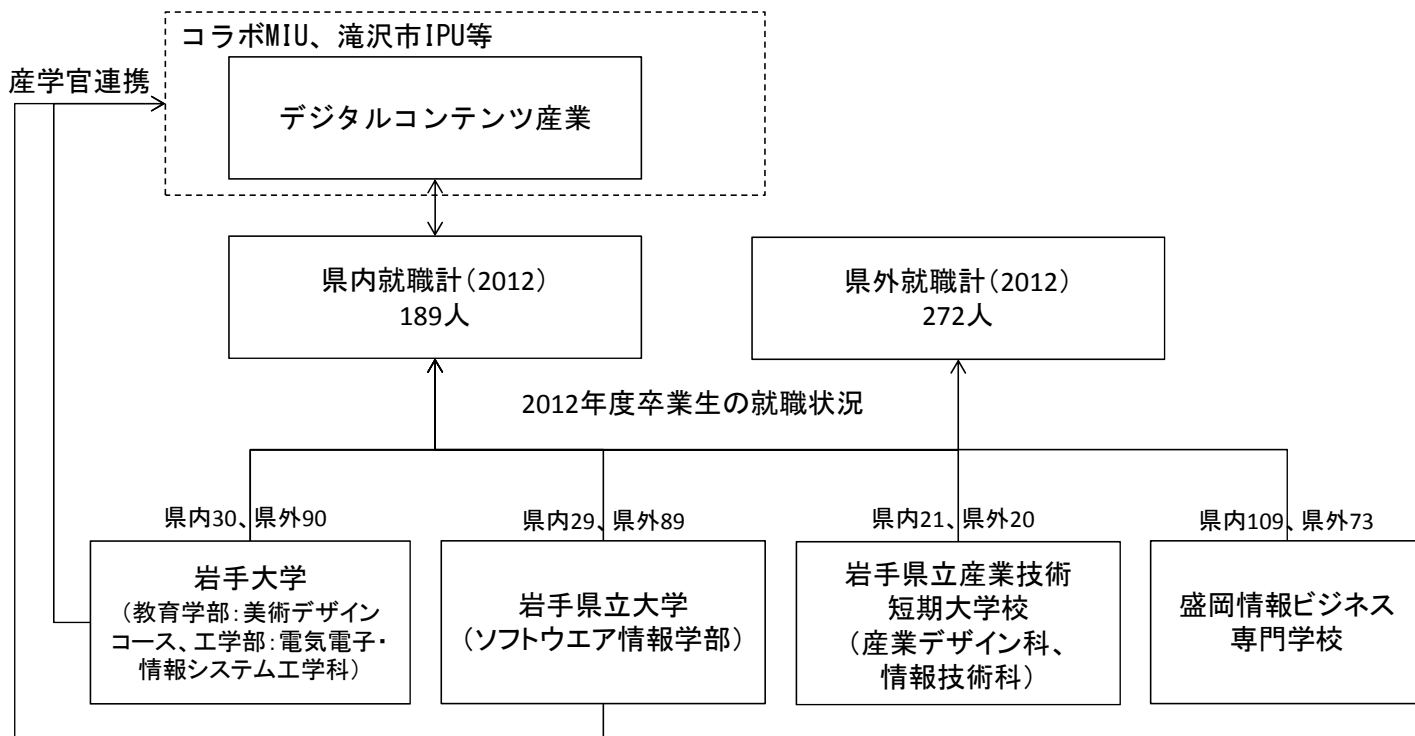
今後期待されるのは、食品産業等へIT技術を活用し、労働生産性を改善することである。盛岡広域圏には、組み込みソフトや生産管理システム等、活用可能な関連IT技術が集積しているとみられる

	機 関 名	特 徴 等
1984	岩手県産学官交流アクセスフォーラム	産学官連携の先駆け
1992	岩手ネットワークシステム	先進事例/岩手大学工学部に事務局
2002	岩手県地域連携研究センター	2005年度に岩手県立大学内組織へ
2003	岩手大学地域共同研究センター	2004年地域連携推進センターに改組
2004	いわて産学連携推進協議会	岩手大学、岩手銀行、日本政策投資銀行の3者で発足
2007	岩手医科大学リエゾンセンター	薬学部新設が契機
2007	盛岡市産学官連携研究センター(コラボMIU)	岩手大学工学部内に設置
2008	盛岡市新事業創造センター(M-tec)	公設試験研究機関に隣接
2008	いわて未来づくり機構	共同代表は岩手県知事、岩手大学学長、岩手県商工会議所連合会会長、岩手経済同友会代表幹事
2009	滝沢村(現滝沢市)IPUイノベーションセンター	岩手県立大学地域連携研究センターに隣接 情報通信、電気器械関連企業が入居
2014	IPU第2イノベーションセンター	

46

## (4)ICTの活用－若年層の就職

産学官連携によるデジタルコンテンツ産業の振興は、若年層定着の切り札とも期待されているが、下図の2012年度卒業生の就職状況の通り、現時点では、県外流出が多い。デジタルコンテンツ産業の誘致に努めるとともに、同産業のような狭義のIT産業に限らず、IT技術を必要とする食品産業等との卒業生のマッチングや、生産管理等に関するIT技術の応用も検討すべきであろう



### 3. 今後強化又は新たに取り組むべき方向性



# (1) 戦略産業

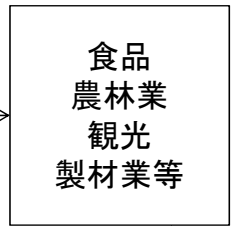
戦略産業について、現時点で考えられるものを例示すると以下の通り

## 1. 経済成長の中核的役割を果たす特徴や強みがある産業分野

(1) 地域独自の需要に対応している

- ① ウェイトが大きい(食品)
- ② 特化係数が高い(農林業)

(2) 地域独自の資源を活用している(農林業、観光)



## 2. 社会情勢を踏まえ発展可能性の高い産業分野

(1) 社会情勢: その1 → 少子高齢化

- ① 生産性が向上する産業群: 労働集約型産業の成長(=労働生産性上昇)が期待できる  
雇用確保(人手余剰) → 人手不足 → 労働生産性向上
- ② 需要が増加する産業群: 高齢者関連(医療福祉、高齢者食品)

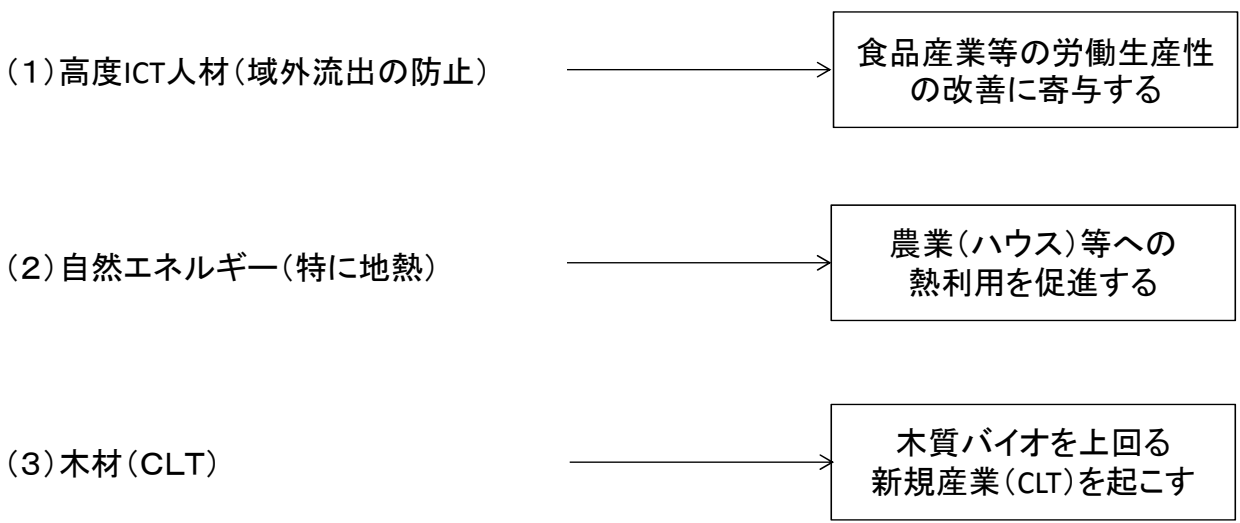
(2) 社会情勢: その2 → 需要の高度化(安心安全)

- ① 商品価格が上昇しつつ成長している産業群: 清酒、スイーツ(←酪農)
- ② 技術進歩が生み出す産業群: 木造都市関連産業(CLT、耐火柱 → 製材業、  
2016年建築基準法改正)

# (2) 潜在的資源

潜在的資源について、現時点で考えられるものを例示すると以下の通り

現在は未活用又は活用不十分であるが、経済成長への貢献の可能性が大きいと認められる経済的資源



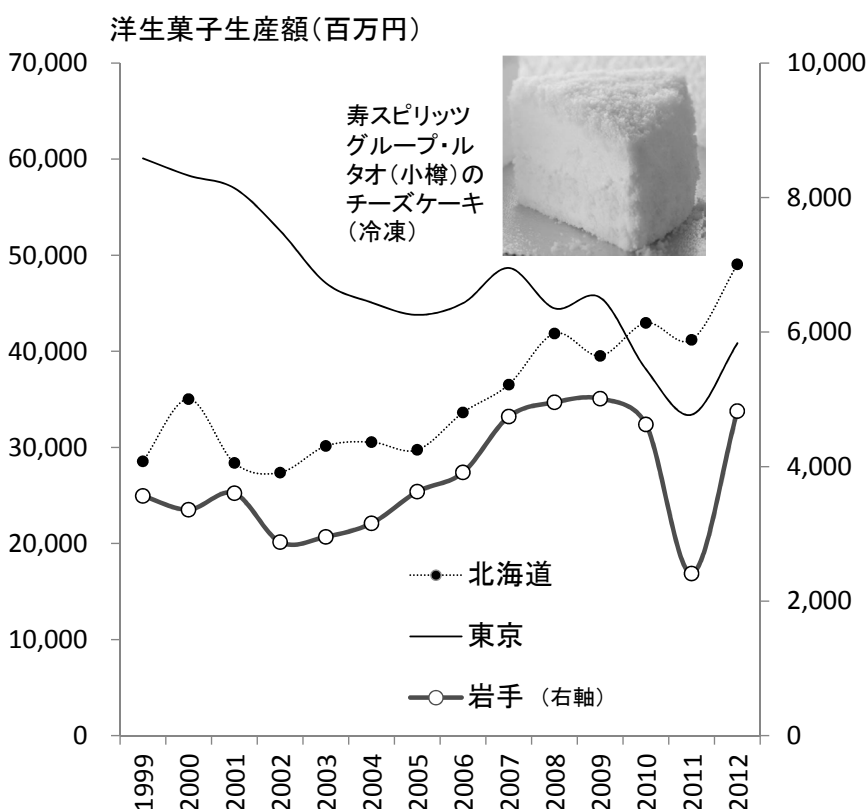
### (3) 具体的な施策の方向性

戦略産業と潜在的資源の候補について、具体的な地域資源と結びつけて例示すると以下の通り

区分	分野	業種	活用可能な地域資源等の例
戦略産業候補	食品加工	乳製品、スイーツ、 日本酒、ワイン	小岩井農場(雫石町) 圏内の醸造所
	農業・6次産業	直売所	圏内の道の駅 「石神の丘」(岩手町)等
	観光	スキー場	安比高原スキー場(八幡平市) 雫石スキー場(雫石町)
潜在的資源候補	高度ICT人材	デジタルコンテンツ	圏内のIT企業
	自然エネルギー	地熱	松川地熱発電所(八幡平市)
	木材	CLT	葛巻町 紫波町(木造公共建造物)
産学連携	大学、施設	ICT等	コラボMIU(盛岡市) 岩手大学(盛岡市) IPUイノベーションセンター(滝沢市) 岩手県立大学(滝沢市) 岩手医科大学(矢巾町)

### (3) 具体的な施策の方向性ースイーツと酪農

地域資源型食品加工ではスイーツ(洋生菓子)も好調。冷凍技術の進歩によって、消費者立地から生産者立地にシフトしつつある。労働生産性の改善余地が認められ、冷凍制御技術がポイント。商店街との連携も重要



### (3) 具体的な施策の方向性－飼料米

飼料米には手厚い助成措置が施されており、広域圏内で生産されたものを葛巻町等の畜産に活用すれば、相乗効果が生まれる

#### ■ 水田活用の直接支払交付金(2,770億円:転作支援の強化)

対象作物	交付単価(例)
麦、大豆、飼料作物	35,000円/10a
WCS用稲	80,000円/10a
加工米用	20,000円/10a
飼料用米、米粉用米	55,000～105,000円/10a

#### ■ 日本型直接支払制度(2014年度～予算措置として実施、2015年度～法律に基づき実施。多面的機能維持)

種類	交付単価(例)
農地維持支払(新設)	3,000円/10a
資源向上支払(新設)	2,400円/10a
中山間地域等直接支払	20,000円/10a
環境保全型農業直接支援	55,000～105,000円/10a

(出典)「新たな農業・農村政策が始まります!!(平成25年12月)」(農林水産省資料)より、当所作成

### (3) 具体的な施策の方向性－食品加工

野菜を加工(カット)して販売することで、岩手町産キャベツ等ブランド野菜の一層の高付加価値化(販売単価の上昇)が可能。盛岡食材加工協同組合がカット野菜の加工処理を実施しているが、食材供給は広域圏南部に限られており、広域化・IT化することが考えられる

フードシステム高度化

米の炊飯  
カット野菜加工処理

盛岡市(玉山区を除く)、  
紫波町、矢巾町

食材供給は、主にJA岩手中央から

盛岡食材加工  
協同組合

岩手町産キャベツを  
ブランドカット野菜と  
して高付加価値化

ACC(アグリ コラボ サークル)

安全・安心な岩手県産食材を安定的に  
供給する生産者と食品加工業者の共同体

#### 【組合員】

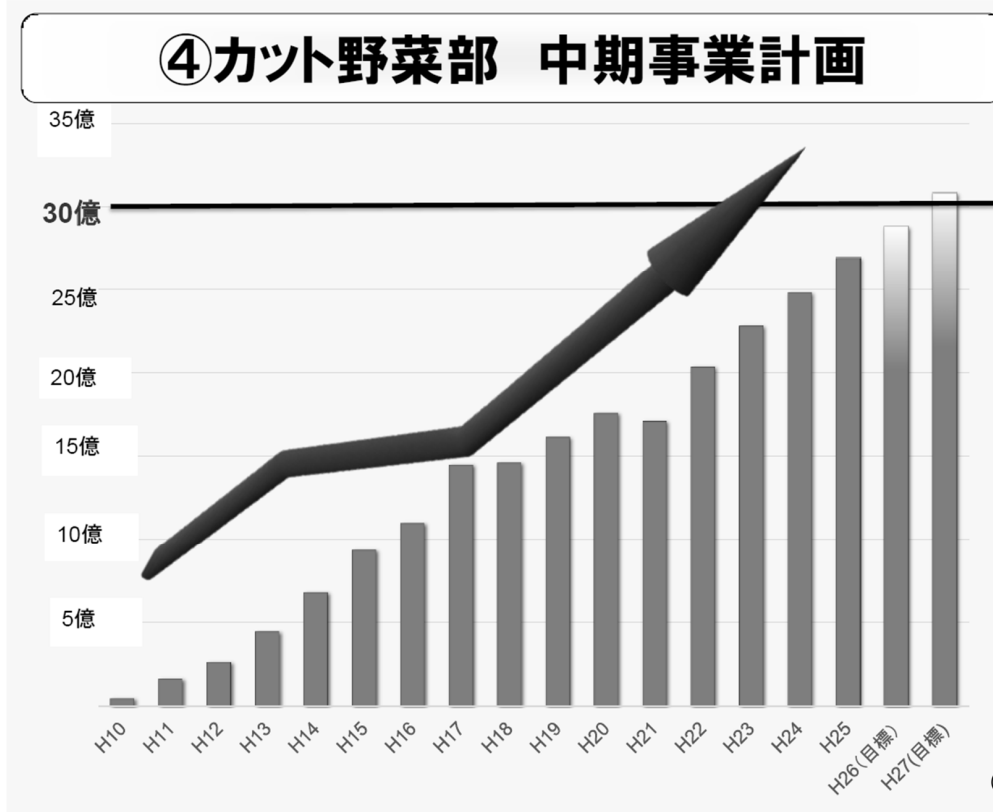
農業団体(JAシンセラ<JA岩手中央>、  
Aコープ北東北、パールもりおか)  
外食産業(メルク、川徳、清次郎、  
盛岡ターミナルビル)  
商社(盛菱、モリレイ、盛岡ガス燃料)

#### 【メンバー】

銀河農園(トマト、水稻、野菜)  
西部開発農産(米、野菜)  
盛岡食材加工センター(米、野菜)  
盛川農場(米、じゃがいも、大豆)  
荒木農場(じゃがいも)  
いきいき農場(キャベツ、レタス)  
長根商店(きのこ、山菜、野菜)

### (3) 具体的な施策の方向性－食品加工

西日本最大のカット野菜工場(処理能力30t/日)を有する倉敷青果荷受組合では、受注システム、生産管理システムを導入し、作業効率の向上による人件費の削減、納品ミス・欠品・廃棄ロスの削減等の効果を生んでいる(農林水産大臣賞、おかもやまIT経営力大賞等を受賞)



### (3) 具体的な施策の方向性－食品加工

ITの食品加工への活用については、「滝沢アグリIT化研究会」が2012年3月に発足

#### 滝沢アグリIT化研究会について

##### 趣 旨

IT関連企業やものづくり企業等が企業間連携、産学官連携により新たな事業展開が進むよう農業分野への展開意欲がある企業等を多く参集し、技術・人材などの情報交換等を行い、ネットワーク構築の支援を目的として「滝沢アグリIT化研究会」を立ち上げたものです。

##### 性 格

○農業分野への事業展開意欲がある企業・個人などが幅広く参加し、活発に交流を深めることができる自由で緩やかなネットワーク組織とします。

##### 組織・運営

○会員は登録制とはせず、事務局が参加を募ります。  
○事務局は滝沢市が行い、関係機関と協力して運営することとします。  
○会費は無料とします。

##### 活動内容

○参加者相互の交流機会の創出  
○農業IT化の動向などの情報発信交換及び発信  
○農業と他産業との連携、新事業創出などの情報交換及び発信  
○参加企業の取組み紹介  
○農業者をはじめとする農業関係者との交流機会の創出  
○その他

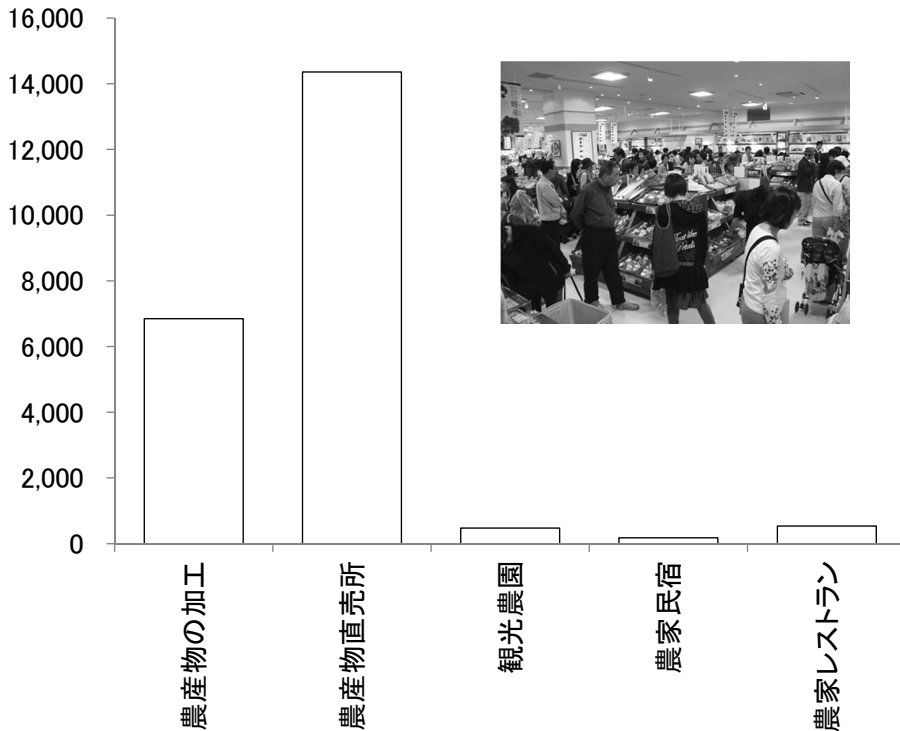
##### 今後の予定

○セミナー開催  
○農業現場の視察や農業者との情報交換など  
○その他

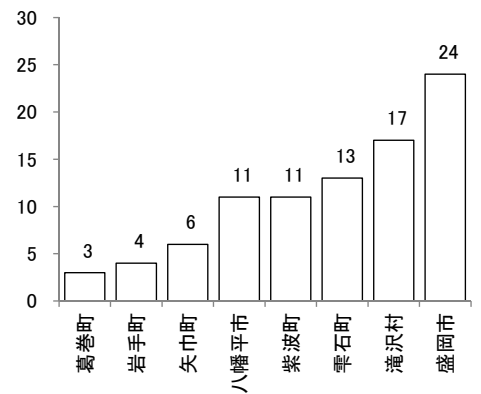
### (3) 具体的な施策の方向性－6次産業

6次産業の中核は農産物の直売所である。盛岡の再開発中核テナント(クロステラス盛岡:賢治の大地館)をはじめ、盛岡広域圏には大規模直売所の集積がみられる

岩手県6次産業(百万円、2012、6次産業化総合調査)



産地直売所数(2010)農業センサス



### (3) 具体的な施策の方向性－6次産業

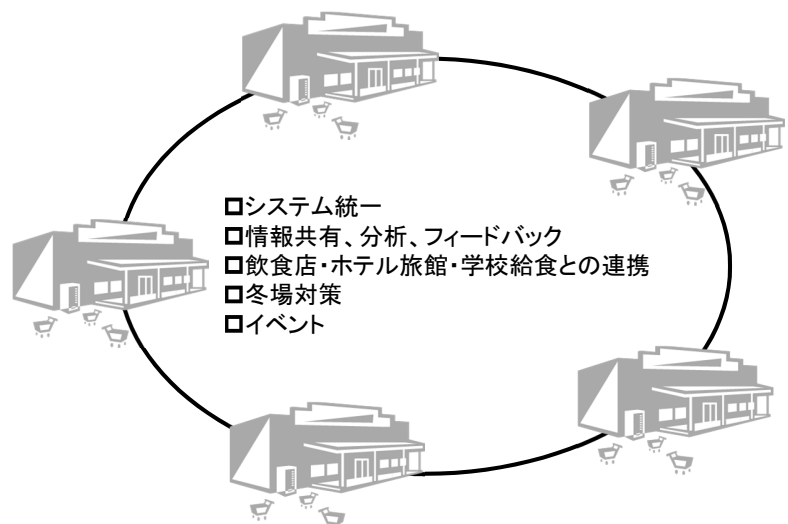
今日の直売所では、システム投資の負担が大きく、採算ラインの投資額は約40百万円にのぼる(土地代を除く)。投資負担を分散したり、地産池消型給食への食材提供を可能としたりするためには、直売所同士のネットワーク形成が必要。群馬県には同ネットワークの形成により年商70億円に達した企業がある(ファームドゥ社)

採算ライン直売所の売上と投資額

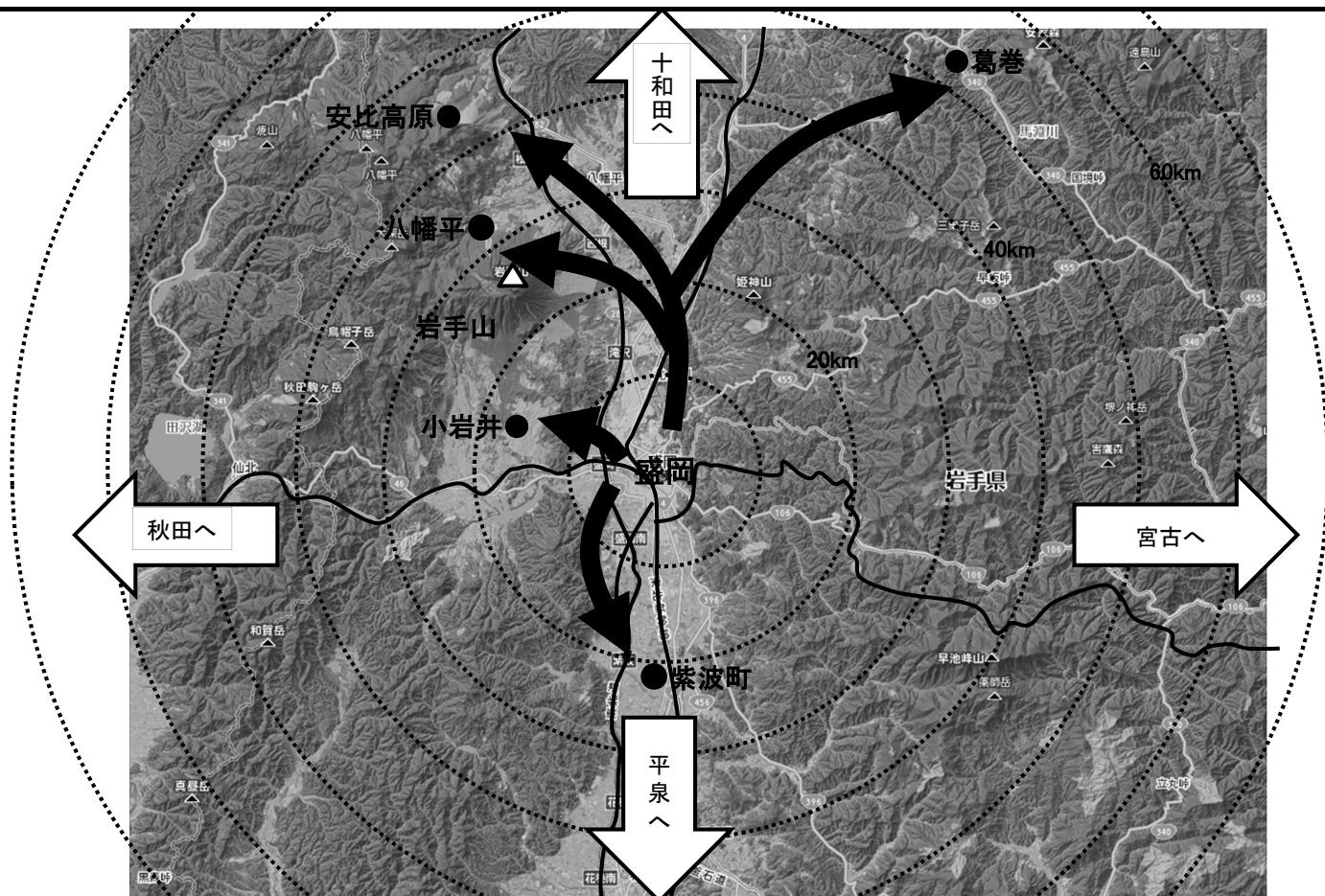
(金額:千円)

売上高(千円)	90,000
売場面積(坪)	30
建物面積(坪)	75
想定延客数(人/日)	300
必要駐車台数(台)	18
駐車場面積(坪)	126
その他(緑地等)	20
<b>合計面積(坪)</b>	<b>221</b>
建築工事	12,983
設備工事	8,856
什器	8,100
機器備品	525
<b>運営システム</b>	<b>5,000</b>
POSレジ	1,600
フォークリフト	2,000
バーコード発券機	800
冷凍冷蔵庫	800
<b>投資額計</b>	<b>40,664</b>
投資/建物坪単価	542

直売所のネットワーク化



### (3) 具体的な施策の方向性－観光



「盛岡広域圏」は豊かな自然に囲まれたリゾートシティ

(地図: マピオン)

### (3) 具体的な施策の方向性－観光

日本政策投資銀行によって実施された「2011盛岡広域圏地域づくり健康診断」  
により抽出された地域課題例  
－身近に存在する地域資源の理解と共有

○盛岡は「北上川から臨む岩手山」に代表される自然景観から、現在も使用されている町屋や洋風建築物等の歴史資産まで、住民の生活の場に溶け込んだ地域資源の宝庫である。

○さらに、盛岡を起点とした近郊にも温泉地、観光牧場、スキー場まで豊富な観光資源が存在。市内の「まちなか観光」と併せて広域圏では来訪者の多様なニーズに対応可能。

○しかしながら、住民の間での日常生活に密着した「近すぎて見えない資源」への過小評価が、域内での情報共有や来訪者へのPR不足の原因となっているのでは？

### (3) 具体的な施策の方向性－自然エネルギー

盛岡広域圏には、地熱や木質バイオマス、風力等、再生可能エネルギー産業が集積している。売電のみならず、農業(ハウス)への熱供給等も有望とみられる



木質バイオマスを原料にエネルギー(電気・熱)を回収する葛巻町の実証試験施設



松川地熱発電所



松川発電所では、花や野菜のハウスへ温水を供給



いちごハウス  
(写真はサラダファーム/八幡平市)

61

### (3) 具体的な施策の方向性－木材

CLT(耐震耐火パネル)や耐火柱など、大型木造建造物を可能とする技術革新が進みつつあり、盛岡広域圏においても成長が期待される



山形県の耐火柱メーカー(株)シェルターが建築した大規模模木造建築「紫波町火葬場」



建設中の紫波町庁舎



CLT(耐震耐火パネル)



CLT建造物(海外)

62

### (3) 具体的な施策の方向性－雇用

「Uターン世代がUターンしない」盛岡広域圏への「I・U・Jターン」を促進するため、職業紹介等をワンストップで行う組織の設置が考えられる。もちろん、今後想定される人手不足への対策にも、つながる

同様のワンストップサービスを実施している(公財)仙台市産業振興事業団の例

自分にあう職業サポートサービスってある？  
 とりあえず就活の悩みを聞いてほしいんだけど？  
 求人企業の情報ってどこで手に入るの？  
 企業説明会の開催予定ってどこで聞けばいいの？



あなたにあったサービスをご提案  
**おしごとコンシェルジュ**

就職活動や転職活動、現在のお仕事での課題やお悩みなどを伺うワンストップサービスです。お客様の現在のニーズに応じたサービスを提案します。

(提案例)

- ・個別相談やセミナーのご案内
- ・企業説明会・交流会のご案内
- ・他機関サービスの情報提供 等

### (3) 具体的な施策の方向性－まとめ

具体的な施策の方向性について、産業間の関係を示すと、以下の通り

